

教科名： C# （演習）		通期	教科担任：梅津 隆雄(実務経験教員)			
学科名： AI・情報システム科		コース：	2年		単位数： 2単位	
授業のねらい		SE・PGとしての実務経験を生かし、VisualStudioC#を使ったウィンドウズプログラミング技法を習得する			前期 4H×15W = 60H 合計 60H	
目指す検定・資格					教材費 ¥3,500	
テキスト・教材		VisualC#2017逆引き大全 レバーファイル				
評価方法		試験・課題			その他	
時数	単元	授業内容（細目）			学習上の留意点	実時数
1	labelとtextBoxの利用	labelの設定と利用法、textBoxの設定と利用法を理解させる			それぞれの違いについて理解させる	4
2	数値と文字列	数値と文字列の違いと変換方法について理解させる			メソッドの利用法について理解させる	4
3	分岐型の記述法	多分岐型まで理解させる			基本的な記述法について理解させる	4
4	ループ型の記述法	forとwhileを使った記述法を利用する			基本的な記述法について理解させる	4
5	多重ループの利用	forとwhileを使った入れ子の記述法を理解させる			入れ子の考え方を理解させる	4
6	配列の利用	一次元配列の定義と基本的な考え方について理解させる			言語独自の定義法について理解させる	4
7	コントロール配列	buttonを配列として扱う技法について理解させる			オブジェクトを配列として扱う方法について理解させる	4
8	乱数の利用	乱数の発生と利用法について理解させる			いくつかの利用法をあげて理解させる	4
9	radioButtonとGroupBoxの利用	radioButtonとGroupBoxの特徴と利用法について理解させる			基本的な利用法について理解させる	4
10	listBoxの利用	checkBoxの特徴と利用法について理解させる			基本的な利用法について理解させる	4
11	checkBoxの利用	listBoxの特徴と利用法について理解させる			基本的な利用法について理解させる	4
12	comboBoxの利用	comboBoxの特徴と利用法について理解させる			基本的な利用法について理解させる	4
13	timerの利用	timerの特徴と利用法について理解させる			基本的な利用法について理解させる	4
14	pictureBoxの利用	pictureBoxの特徴と利用法について理解させる			基本的な利用法について理解させる	4
15	imageListの利用とデータ登録	imageListの特徴と利用法について理解させる			基本的な利用法について理解させる	4
その他	単元ごとに実習課題を課す					

教科名：プログラミング基礎（演習）		前期	教科担任：梅津隆雄（実務経験教員）		
学科名：AI・情報システム科		コース：	1年	単位数：2単位	
授業のねらい		SE・PGとしての実務経験を生かし、フローチャート作成の基礎およびコーディングの基本的な技法を習得する。		前期 4H×15W = 60H 合計 60H	
目指す検定・資格				教材費 ¥4,980	
テキスト・教材		擬似言語で学ぶアルゴリズム テンプレート フローチャート用方眼紙			
評価方法		前期 試験・課題		その他	
時数	単元	授業内容（細目）		学習上の留意点	実時数
1	アルゴリズムとフローチャート	アルゴリズムとフローチャートの関連を理解させる		テンプレートの使用法について留意する	4
2	領域の概念とプログラミング	領域の概念と変数について理解させ、簡単なプログラミングを行う		領域と変数との関連を理解させる	4
3	四則演算と出力	変数を利用した四則演算と結果の出力方法について理解させる		四則演算の記述法と出力方法を理解させる	4
4	順次型のアルゴリズム	順次型アルゴリズムの基礎と代表的なアルゴリズムを理解させる		変数の内容を入れ換えるルゴリズムを理解させる	4
5	選択型アルゴリズムの基礎	選択型アルゴリズムの基礎と比較演算子を理解させる		比較演算子の種類と違いについて理解させる	4
6	選択型アルゴリズムの入れ子	選択型の構造内に選択型構造を複数持つようなアルゴリズムを理解させる		複雑な構造のアルゴリズム記述法について理解させる	4
7	論理演算子を利用した選択型アルゴリズム	複合演算の考え方と対応した論理演算子の記述法を理解させる		論理和、論理積、否定論理和、否定論理積の理解	4
8	剰余演算子の利用	剰余を求める演算子の利用法について理解させる		いくつかの利用法をあげて理解させる	4
9	反復型アルゴリズムの基礎	反復型アルゴリズムの基礎と記述法を理解させる		基本的な記述法について理解させる	4
10	合計や平均を求めるアルゴリズム	合計や平均を求めるアルゴリズムにおける重要ポイントを理解させる		初期化、演算、結果の出力を理解させる	4
11	複数データの入力処理	データ件数が未確定な入力処理のアルゴリズムを理解させる		基本形を理解させる	4
12	最大値と最小値	複数データにおける最大値と最小値を求めるアルゴリズムについて理解させる		初期値設定方法に留意する	4
13	配列の考え方	一次元配列の定義と基本的な考え方について理解させる		変数との違いを認識させる	4
14	配列内のデータ利用	最大値や最小値、合計や平均を求めるアルゴリズムを理解させる		配列への初期値の設定法について理解させる	4
15	配列へのデータ入力	配列へのデータ登録と利用法について理解させる		データの入力法について理解させる	4
その他	単元ごとに実習課題を課す。				

教科名：アルゴリズム（演習）			後期	教科担任：梅津隆雄(実務経験教員)	
学科名：AI・情報システム科 ICTクリエイト科		コース：	1年	単位数：	2単位
授業のねらい		SE・PGとしての実務経験を生かし、様々なアルゴリズム技法を習得させる。		後期 合計	4H×15W = 60H 60H
目指す検定・資格				教材費	
テキスト・教材		擬似言語で学ぶアルゴリズム テンプレート フローチャート用方眼紙			
評価方法		試験・課題		その他	
時数	単元	授業内容（細目）		学習上の留意点	実時数
1	固定化されたループ処理	ループの初期化、継続条件、増分式の記述法について理解させる		記述の順番に留意する	4
2	複数配列の扱い方	複数の配列間におけるデータのやりとりについて理解させる		インデックスの使い方に留意する	4
3	データのシフト	配列内のデータをシフトさせる技法について理解させる		処理手順の違いについて理解させる	4
4	多重ループの考え方	ループの入れ子についてその構造と考え方を理解させる		処理の流れを理解させる	4
5	ソート技法	選択法、交換法、挿入法について理解させる		ソート技法の違いと考え方を理解させる	4
6	順位付け技法	データの順位付け技法についてその種類と考え方を理解させる		大きく2種類の技法について理解させる	4
7	線形探索	線形探索におけるデータ探索技法について理解させる		基本的な考え方について理解させる	4
8	番兵法	番兵法の利用法について理解させる		ポイントとなる考え方について理解させる	4
9	二分探索法	二分探索におけるデータ探索技法について理解させる		基本的な考え方について理解させる	4
10	区間探索	区間探索の利用法について理解させる		ポイントとなる考え方について理解させる	4
11	定義済処理	サブプログラムの記述法について理解させる		基本的な記述法について理解させる	4
12	関数	関数の定義と利用法について理解させる		大きく4種類のパターンを理解させる	4
13	文字を扱うプログラム	文字と文字列の違いと文字を扱うプログラムの記述法を理解する		数値と文字の扱い方の違いに注意する	4
14	文字変換	英大文字と英小文字の変換や数字と数値の変換方法について理解させる		文字変換について理解させる	4
15	文字列を扱うプログラム	文字列の入出力と、プログラムの記述法を理解する		文字列の利用法について理解させる	4
その他	単元ごとに実習課題を課す				

教科名： AfterEffects実習1,2（実習）			前期 後期	教科担任：廣田 健（実務経験教員）		
学科名： ICTクリエイト科			コース：全コース		2年	単位数： 2単位
授業のねらい		映像を制作するにあたり特殊効果（エフェクト）は必須となっている。SFXからVFXへとニーズが変化していることから、TV業界勤務の経験を活かしそのような映像制作ができる技術を身につけさせる。			前期 2H×15W = 30H 後期 2H×15W = 30H 合計 60H	
目指す検定・資格					教材費	2,700円
テキスト・教材		はじめよう！つくりながら楽しく覚えるAfterEffects				
評価方法		前期 課題 後期 課題			その他	
時数	単元	授業内容（細目）			学習上の留意点	実時数
1	特殊効果を1つ作ってみよう	・ AEの画面設定をする・AE動画作成 コンポジション、レイヤー、エフェクトの関係を整理する			コンポジションを理解する CC Star Burst（スターバースト）	4
2	流星をバックに文字を動かしてみよう	・ 流星の上に文字を乗せてみる ・ 文字を動画の途中から表示する ・ 文字が徐々に表示される設定 文字を回したり、大きさを変更する			段落パネルの設定法 タイムラインの設定 レイヤーについて理解する キーフレームを理解する	4
3	泡をバックに図形を動かしてみよう	・ 星型の図形を動かしてみよう ・ 星の動きを滑らかにする 星をハート型に動かす			CC Bubbles(バブル) 位置プロパティを理解する	4
4	定番エフェクトの使い方を覚えよう	・ ブラーエフェクトでぼかす ・ レンズフレアで光る玉を飛ばす ・ グローエフェクトで文字を光らせる フラクタルノイズで霧を出す			ブラーエフェクト レンズフレアエフェクト グローエフェクト フラクタルノイズ	4
5	AEの醍醐味、パーティクルを使ってみよう	・ パーティクルを飛ばしてみる ・ 星が連続して飛び出すエフェクト 花火のような爆発効果			CC particle systems II	4
6	初心者にも便利なエクスプレッションを	・ エクスプレッションを使ってみる レイヤーを時間の経過に合わせて動かす			アニメーションメニューのエクスプレッションを理解する	4
7	3Dレイヤーで立体的な表現に挑戦	・ 3Dレイヤーを使ってみる ・ ライトとカメラを設置する アニメーションを作ってみる			3Dレイヤーを理解する ライトとカメラの設定	4
8	複数のレイヤーを一緒に動かしたり、まとめたりしよう	・ 複数レイヤーを一緒に動かそう ポリコンポーズでまとめてみる			CC Sphere プリコンポーズを理解する	4
9	レイヤーの様々な合成方法を覚えよう①	・ マスクパスで切り抜いてみる キーイングエフェクトで自動的に背景を抜いてみる			不透明度、描画モード、マスクパス、キーイングエフェクト、トラックマットで合成	4
10	レイヤーの様々な合成方法を覚えよう②	・ トラックマットで文字の中に棒人間を映してみよう 描画モードの仕組みを見てみる			マスクパスで合成 リニアカラーキーを理解する	4
11	できた物を書き出したり、素材を読み込んで配置しよう①	・ 作ったデータをファイルに書き出す ・ RAMプレビューを保存する ・ レンダーキューに追加して書き出す AdobeMediaEncoderで書き出す			目的に合わせた書き出し方法を理解する	4
12	できた物を書き出したり、素材を読み込んで配置しよう②	・ 動画素材を読み込んで配置する ・ 特定のフレームを静止画として書き出す 静止画を読み込む			素材の配置、切り取りについて理解する	4
13	課題制作1	これまで学習してきた内容を元に、テーマを決めて映像を作成する			自分の興味のあるテーマを決め映像制作に取り組む	4
14	課題制作2	完成した映像を、視聴メディアに合わせた形でファイルに書き出す			いつ・どこで・誰に向けてメッセージを発信するのか検討する	4
15	課題制作3	完成した映像をDreamWeaver実習で作った課題（サイト）に埋め込む			Web素材として必要な要素（時間、データ量、色調など）を検討しサイトに埋め込む	4
その他						

教科名： 広告論1.2(講義)			前期 後期		教科担任：外塚 誠（実務経験教員）		
学科名：ICTクリエイト科			コース：全コース			1年	単位数：2単位
授業のねらい		デザイン事務所経営の実績を活かし、広告の在り方について指導する。私たちが日常的に目にする広告の意図と表現の読みかた、またそこで使われる広告デザインの原理やテクニックを学び、演習を通じて広告デザインを自分の手で実践してみることでその理解を深める。				前期 2H×15W = 30H 後期 2H×15W = 30H 合計 60H	
目指す検定・資格						教材費	
テキスト・教材							
評価方法		前期 課題 後期 課題				その他	
時数	単元	授業内容（細目）				学習上の留意点	実時数
1	身のまわりにある広告	日常生活で目にする広告に注目しよう				日常で目にする広告とそこで用いられるデザインに興味を持てもらう	2
2	広告デザインの収集	広告をクリップしてみよう				自分が気に入った広告の収集を通じて、その成り立ちへの興味を深める	2
3	写真とデザインの意図	デザインの意図を写真を通じて学ぶ				トリミングや写真レイアウトから「意味のコントロール」の存在を知る	2
4	デザインにおける配色の仕組みとルール	デザインにおける配色の仕組みとルールと通じてその効果を知る				配色の仕組みとバランスによって伝達される意味の違いを学ぶ	2
5	デザインにおける配色の演習	学習した配色の仕組みとルールを使って、実際にさまざまな配色を試みる				色の組み合わせとイメージの強い関連に興味を持てもらう	2
6	書体（フォント）について	広告に用いられるフォントの使用意図と効果を学ぶ				フォントが伝える印象の違いやデザインへの影響の大きさを学ぶ	2
7	欧文書体を知る1	欧文フォント使ったデザイン演習1				実際のデザイン制作を通じてフォントによる伝わる印象の違いを学ぶ	2
8	欧文書体を知る2	欧文フォントを使ったデザイン演習2				実際のデザイン制作を通じてフォントによる伝わる印象の違いを学ぶ	2
9	和文書体を知る1	和文フォントを使ったデザイン演習1				フォントが与える印象とともに和文書体に独特の仕組みを学ぶ	2
10	和文書体を知る2	和文フォントを使ったデザイン演習2				フォントが与える印象とともに和文書体に独特の仕組みを学ぶ	2
11	広告のコンセプト	広告の意図、コンセプトを読む				主に写真と色、書体から広告のコンセプトを読み取れることを学ぶ	2

12	デザインの基本原則	デザインの四原則（コントラスト、反復、整列、近接）の概要	デザインされた情報は四原則に則っていることを知る	2
13	デザインの四原則を使った演習1	コントラスト、反復、整列、近接を念頭に置いたデザイン	情報の整理や配置によってデザインの精度を上げられることを学ぶ	2
14	デザインの四原則を使った演習2	コントラスト、反復、整列、近接を念頭に置いたデザイン	情報の整理や配置によってデザインの精度を上げられることを学ぶ	2
15	色の基本原則1	色相、彩度、明度について（マンセル表色系）	色相、彩度、明度といった色彩が持つ要素と意味を理解する	2
16	色の基本原則2	与えられたテーマに沿った配色を多くのパターンで表現する演習	色相、彩度、明度のバランスによる与える印象の違いを学ぶ	2
17	グリッド	グリッドデザイン&ノングリッドデザインについて	デザインの意図とグリッドの有無による効果の違いを学ぶ	2
18	グリッドデザイン&ノングリッドデザイン演習	同じテーマでグリッド&ノングリッドの2種をデザイン	実際の作業を通じて2種のデザインのそれぞれの特徴を学ぶ	2
19	黄金比	黄金比の仕組みについて	普段目にするものの中にも黄金比がいくつも存在することを知る	2
20	視認性	メディアによるデザインの視認性の違い	デザインのサイズ感や距離による見えかたの違いを学ぶ	2
21	レイアウト基礎	レイアウトのルールと基礎	デザイン意図に即したレイアウトの方法を学ぶ	2
22	レイアウト演習	サンプルを使いながらレイアウト制作	レイアウト制作とともにデザイン四原則やグリッドの復習も	2
23	デザインバリエーション	ひとつのテーマに対するデザインバリエーションの提案	制作現場で求められる解決としてのデザインはひとつではないことを知る	2
24	デザインバリエーション演習1	実際にデザインのバリエーションを作ってみよう	コンセプトの理解、書体や配色といったこれまで学んだ知識を活かしながら制作	2
25	デザインバリエーション演習2	実際にデザインのバリエーションを作ってみよう	コンセプトの理解、書体や配色といったこれまで学んだ知識を活かしながら制作	2
26	身体感覚と広告	あらためて日常の中の広告を見直す	広告がおかれた環境、時間軸などからその影響と効果を知る	2
27	広告のリデザイン1	好きな広告、気になる広告をリデザインしてみよう	リデザインを通じてこれまでの学習内容を振り返る	2
28	広告のリデザイン2	好きな広告、気になる広告をリデザインしてみよう	リデザインを通じてこれまでの学習内容を振り返る	2
29	広告制作の実際1	広告制作の現場について	仕事上のコミュニケーションやスケジュールの立てかたなどを学ぶ	2
30	広告制作の実際2	広告制作の現場について	実際の制作現場で起きる問題とその対処法について知る	2
その他				

教科名：ポートフォリオ作成1（実習）			後期	教科担任：外塚 誠（実務経験教員）		
学科名：ICTクリエイト科			コース：全コース		1年	単位数：1単位
授業のねらい		デザイン事務所経営の実績を活かし、クリエイティブ業界の就職活動などに必要となるポートフォリオ制作を指導する。採用において大きな意味を持つポートフォリオの制作をソフトの基本操作の習得とともに行う。またポートフォリオ制作のみならず、収録作品の量と質を上げるため、後期は自由制作とそのブラッシュアップに注力する。			後期 2H×15W = 30H 合計 30H	
目指す検定・資格					教材費	
テキスト・教材						
評価方法		課題（ポートフォリオの完成）			その他	
時数	単元	授業内容（細目）			学習上の留意点	実時数
1	ポートフォリオとは何か	ポートフォリオの意味と必要性			ポートフォリオが必要になる局面を具体的に知ってもらう	1
2	ポートフォリオ誌面のルール	統一性と一貫性があるポートフォリオ制作			判型、版面、レイアウト、書体など誌面づくりに必要な要素を学ぶ	1
3	レイアウト演習1	ポートフォリオの本文レイアウト制作			ポートフォリオであることを念頭に、サンプルを用いて効果的なデザイン&レイアウトを知る	1
4	レイアウト演習2	ポートフォリオの本文レイアウト制作			ポートフォリオであることを念頭に、サンプルを用いて効果的なデザイン&レイアウトを知る	1
5	構成とコンセプト	自分のポートフォリオの構成とコンセプトを決める			あらためて「ポートフォリオの意味と必要性」と向き合い考えさせる	1
6	本文フォーマットの決定	ポートフォリオの本文フォーマットを決める			実際の作品を落とし込んで具体的にイメージしながら進めさせる	1
7	装丁のデザイン1	表紙まわり＝装丁をデザインする			ポートフォリオの顔となる部分をどう表現するか、慎重に考えさせる	1
8	装丁のデザイン2	表紙まわり＝装丁をデザインする			ポートフォリオの顔となる部分をどう表現するか、慎重に考えさせる	1
9	>装丁のデザイン3	表紙まわり＝装丁をデザインする			ポートフォリオの顔となる部分をどう表現するか、慎重に考えさせる	1
10	ポートフォリオ制作1	実際にある自分の作品をレイアウト			作品のデジタル化についても学ぶ	1
11	ポートフォリオ制作2	実際にある自分の作品をレイアウト			作品のデジタル化についても学ぶ	1
12	ポートフォリオ制作3	実際にある自分の作品をレイアウト			作品のデジタル化についても学ぶ	1
13	作品解説とキャプション1	作品の解説とキャプションを書く			文章で伝える情報を整理しながら執筆させること	1
14	作品解説とキャプション2	作品の解説とキャプションを書く			文章で伝える情報を整理しながら執筆させること	1

15	ポートフォリオの印刷とデータ化	ポートフォリオを印刷する場合、データ化する場合、それぞれの方法を学ぶ	目的にあったポートフォリオの出力方法を知る	1
16	収録作品の制作と整理	作品のポートフォリオ収録への作業	ポートフォリオの厚みを持たせるために、コンペ応募など自由制作	1
17	収録作品の制作と整理	作品のポートフォリオ収録への作業	ポートフォリオの厚みを持たせるために、コンペ応募など自由制作	1
18	収録作品の制作と整理	作品のポートフォリオ収録への作業	ポートフォリオの厚みを持たせるために、コンペ応募など自由制作	1
19	収録作品の制作と整理	作品のポートフォリオ収録への作業	ポートフォリオの厚みを持たせるために、コンペ応募など自由制作	1
20	収録作品の制作と整理	作品のポートフォリオ収録への作業	ポートフォリオの厚みを持たせるために、コンペ応募など自由制作	1
21	収録作品の制作と整理	作品のポートフォリオ収録への作業	ポートフォリオの厚みを持たせるために、コンペ応募など自由制作	1
22	収録作品の制作と整理	作品のポートフォリオ収録への作業	ポートフォリオの厚みを持たせるために、コンペ応募など自由制作	1
23	収録作品の制作と整理	作品のポートフォリオ収録への作業	ポートフォリオの厚みを持たせるために、コンペ応募など自由制作	1
24	収録作品の制作と整理	作品のポートフォリオ収録への作業	ポートフォリオの厚みを持たせるために、コンペ応募など自由制作	1
25	収録作品の制作と整理	作品のポートフォリオ収録への作業	ポートフォリオの厚みを持たせるために、コンペ応募など自由制作	1
26	収録作品の制作と整理	作品のポートフォリオ収録への作業	ポートフォリオの厚みを持たせるために、コンペ応募など自由制作	1
27	収録作品の制作と整理	作品のポートフォリオ収録への作業	ポートフォリオの厚みを持たせるために、コンペ応募など自由制作	1
28	収録作品の制作と整理	作品のポートフォリオ収録への作業	ポートフォリオの厚みを持たせるために、コンペ応募など自由制作	1
29	収録作品の制作と整理	作品のポートフォリオ収録への作業	ポートフォリオの厚みを持たせるために、コンペ応募など自由制作	1
30	まとめ	収録された作品を振り返り、就職活動に向け必要に応じてブラッシュアップ	自身のポートフォ見直し、修正や調整が必要な部分は手を加えていく	1
その他				

教科名：ポートフォリオ作成2（実習）			前期	教科担任：外塚 誠（実務経験教員）	
学科名：ICTクリエイト科		コース：全コース		2年	単位数：1単位
授業のねらい		デザイン事務所経営の実績を活かし、クリエイティブ業界の就職活動などに必要となるポートフォリオ制作を指導する。採用において大きな意味を持つポートフォリオの制作をソフトの基本操作の習得とともに行う。またポートフォリオ制作のみならず、収録作品の量と質を上げるため、後期は自由制作とそのブラッシュアップに注力する。		前期 2H×15W = 30H 合計 30H	
目指す検定・資格				教材費	
テキスト・教材		デザイン・クリエイティブ業界を目指す人のためのポートフォリオ見本帳 MdN編集部			
評価方法		前期 課題 後期 課題（ポートフォリオの完成）		その他	
時数	単元	授業内容（細目）		学習上の留意点	実時数
1	ポートフォリオとは何か	ポートフォリオの意味と必要性		ポートフォリオが必要になる局面を具体的に知ってもらう	1
2	ポートフォリオ誌面のルール	統一性と一貫性があるポートフォリオ制作		判型、版面、レイアウト、書体など誌面づくりに必要な要素を学ぶ	1
3	レイアウト演習1	ポートフォリオの本文レイアウト制作		ポートフォリオであることを念頭に、サンプルを用いて効果的なデザイン＆レイアウトを知る	1
4	レイアウト演習2	ポートフォリオの本文レイアウト制作		ポートフォリオであることを念頭に、サンプルを用いて効果的なデザイン＆レイアウトを知る	1
5	構成とコンセプト	自分のポートフォリオの構成とコンセプトを決める		あらためて「ポートフォリオの意味と必要性」と向き合い考えさせる	1
6	本文フォーマットの決定	ポートフォリオの本文フォーマットを決める		実際の作品を落とし込んで具体的にイメージしながら進めさせる	1
7	装丁のデザイン1	表紙まわり＝装丁をデザインする		ポートフォリオの顔となる部分をどう表現するか、慎重に考えさせる	1
8	装丁のデザイン2	表紙まわり＝装丁をデザインする		ポートフォリオの顔となる部分をどう表現するか、慎重に考えさせる	1
9	>装丁のデザイン3	表紙まわり＝装丁をデザインする		ポートフォリオの顔となる部分をどう表現するか、慎重に考えさせる	1
10	ポートフォリオ制作1	実際にある自分の作品をレイアウト		作品のデジタル化についても学ぶ	1
11	ポートフォリオ制作2	実際にある自分の作品をレイアウト		作品のデジタル化についても学ぶ	1
12	ポートフォリオ制作3	実際にある自分の作品をレイアウト		作品のデジタル化についても学ぶ	1
13	作品解説とキャプション1	作品の解説とキャプションを書く		文章で伝える情報を整理しながら執筆させること	1
14	作品解説とキャプション2	作品の解説とキャプションを書く		文章で伝える情報を整理しながら執筆させること	1
15	ポートフォリオの印刷とデータ化	ポートフォリオを印刷する場合、データ化する場合、それぞれの方法を学ぶ		目的にあったポートフォリオの出力方法を知る	1

16	収録作品の制作と整理	作品のポートフォリオ収録への作業	ポートフォリオの厚みを持たせるために、コンペ応募など自由制作	1
17	収録作品の制作と整理	作品のポートフォリオ収録への作業	ポートフォリオの厚みを持たせるために、コンペ応募など自由制作	1
18	収録作品の制作と整理	作品のポートフォリオ収録への作業	ポートフォリオの厚みを持たせるために、コンペ応募など自由制作	1
19	収録作品の制作と整理	作品のポートフォリオ収録への作業	ポートフォリオの厚みを持たせるために、コンペ応募など自由制作	1
20	収録作品の制作と整理	作品のポートフォリオ収録への作業	ポートフォリオの厚みを持たせるために、コンペ応募など自由制作	1
21	収録作品の制作と整理	作品のポートフォリオ収録への作業	ポートフォリオの厚みを持たせるために、コンペ応募など自由制作	1
22	収録作品の制作と整理	作品のポートフォリオ収録への作業	ポートフォリオの厚みを持たせるために、コンペ応募など自由制作	1
23	収録作品の制作と整理	作品のポートフォリオ収録への作業	ポートフォリオの厚みを持たせるために、コンペ応募など自由制作	1
24	収録作品の制作と整理	作品のポートフォリオ収録への作業	ポートフォリオの厚みを持たせるために、コンペ応募など自由制作	1
25	収録作品の制作と整理	作品のポートフォリオ収録への作業	ポートフォリオの厚みを持たせるために、コンペ応募など自由制作	1
26	収録作品の制作と整理	作品のポートフォリオ収録への作業	ポートフォリオの厚みを持たせるために、コンペ応募など自由制作	1
27	収録作品の制作と整理	作品のポートフォリオ収録への作業	ポートフォリオの厚みを持たせるために、コンペ応募など自由制作	1
28	収録作品の制作と整理	作品のポートフォリオ収録への作業	ポートフォリオの厚みを持たせるために、コンペ応募など自由制作	1
29	収録作品の制作と整理	作品のポートフォリオ収録への作業	ポートフォリオの厚みを持たせるために、コンペ応募など自由制作	1
30	まとめ	収録された作品を振り返り、就職活動に向け必要に応じてブラッシュアップ	自身のポートフォリオ見直し、修正や調整が必要な部分は手を加えていく	1
その他				

教科名： 建築環境工学2（講義）		通期	教科担任：矢萩 東邦（実務経験教員）	
学科名： 建築科		コース：	2年	単位数： 2単位
授業のねらい	建築系企業の経験を生かした指導をし、建築環境工学が建築設計にどのように活かされ、また建築物を取り巻く外界状況（都市・地球環境）について理解・習得する。		前期 後期 合計	2H×15W = 30H 2H×15W = 30H 60H
目指す検定・資格	目標 取得可能な検定 二級建築士		教材費	
テキスト・教材	二級建築士新体系テキスト「計画」,新体系問題集「計画」 初学者の建築講座「建築環境工学」(第三版)			
評価方法	前期 試験 後期 試験		その他	
時数	単元	授業内容（細目）	学習上の留意点	実時数
1	室内環境	温熱要素について	各キーワードについて理解し、覚えてもらう	2
2		温熱指標について	各キーワードについて理解し、覚えてもらう	2
3		空気線図について（空気線図の使い方）	各キーワードについて理解し、覚えてもらう	2
4		空気線図について（飽和水蒸気量、飽和水蒸気圧力 他）	各キーワードについて理解し、覚えてもらう	2
5		室内空気汚染について	各キーワードについて理解し、覚えてもらう	2
6	換気	自然換気について	各キーワードについて理解し、覚えてもらう	2
7		機械換気について	各キーワードについて理解し、覚えてもらう	2
8		必要換気量について（換気量の計算）	各キーワードについて理解し、覚えてもらう	2
9	伝熱・結露	熱の移動について	各キーワードについて理解し、覚えてもらう	2
10		壁体の伝熱について	各キーワードについて理解し、覚えてもらう	2
11		伝熱の指標について	各キーワードについて理解し、覚えてもらう	2
12		伝熱計算について	各キーワードについて理解し、覚えてもらう	2
13		結露現象について	各キーワードについて理解し、覚えてもらう	2
14		結露対策について	各キーワードについて理解し、覚えてもらう	2
15		断熱性と熱容量について	各キーワードについて理解し、覚えてもらう	2
その他	期末試験成績・提出物・小テスト・授業態度・出席状況を総合して評価する。 授業他、課題により学習内容を定着させる。			

教科名： 都市デザイン2（講義）		通期	教科担任： 山本 幹雄（実務経験教員）		
学科名： 建築科		コース：	1年	単位数： 4単位	
授業のねらい		建築系企業の経験を生かした指導をし、人々が生活する場である街という概念を理解し、その街を作り上げる要素を理解することで、より良い都市のデザインにつなげる。		前期 4H×15W = 60H 後期 4H×15W = 60H 合計 120H	
目指す検定・資格		目標 取得可能な検定		教材費	
テキスト・教材		プリント・専門雑誌等			
評価方法		前期 課題 後期 課題		その他	
時数	単元	授業内容（細目）		学習上の留意点	実時数
1	オリエンテーション	都市とは何か 街とは何か 都市と建築		都市とは単に人が集まり生活を行うものなのか。 都市の機能とは	4
2	街を構成するものの練習	近隣へのフィールドワーク 街並みとは 街並みを構成するものとは レポート		フィールドワークを通して自分の住む街を再確認する 街並みという考え方を理解する	12
3	空間	街を構成する大きな空間 空間と人の流れ 空間心理学		街を構成するスケールとは 街における空間の認識	8
4	歴史的街並み	歴史的街並みの実例研究 街並み保全の取り組みについて		歴史的景観の美しさを認識し、街並みの特徴を考える。	8
5	日本の街並み	日本における歴史的街並み 通り 政治・経済・宗教		色々な街並みを調査研究し、それぞれの特徴・美しさを考える 政治経済宗教による街並み	8
6	各国の街並み	西洋における街並み 広場、通り、 政治・経済・宗教		欧米、アジアの街並みの特徴を調べ、それぞれの特徴を捉える	12
7	近代における街並み	近代の街並みデザイン 現代日本の街並みデザイン		近代での街並みのデザインとそのコンセプトを調べ、人々の行動を考える	8
8	都市計画	都市計画とは 都市計画の考え方		都市計画とは何か 都市計画の用語 考え方を学ぶ	12
9	外構と街	外構と街並み 外構設計		建築物の外構とは その意味と利用方法	12
10	地域における街並みの見学	山形における街並みの構成見学 レポート		各自の調査対象を決め街並みを研究し、まとめ、発表する。	12
11	都市と人	都市と人の関係、街と人の関係 都市における人の流れ		都市間の人の流れ 街と街とのつながり	8
12	都市の未来	各国・日本における新しい都市デザインの在り方とは		新しい街並みの構成とは 現在の都市計画の流れと人の動きを考える	12
13	予備	演習等		補講	4
その他					

教科名： デッサン（実習）		前期	教科担任： 長谷川 雅則（実務経験教員）			
学科名： 建築科 ファッション・プロモート科（合同）		コース：	1年	単位数：	2 単位	
授業のねらい	工芸作家での実務経験を活かし、デッサンを通して立体の把握、プロポーション比例の仕組みを目で感じ取り、手で表現することを指導する。また、立体造形では粘土を用いてモチーフを自分なりのオリジナルティあふれる表現をする。			前 期	2H×15W=30H	
				後 期	2H×15W=30H	
				合 計	60H	
目指す検定・資格	目標 デザイン力 取得可能な検定			教材費	4500円	
テキスト・教材	スケッチブック 鉛筆 練り消しゴム					
評価方法	前期：課題 出席状況 学習態度等を総合して評価する			その他		
時数	単元	授業内容（細目）			学習上の留意点	実時数
1	デッサン	身近なものをスケッチする。			紙と鉛筆になれる	2
2	デッサン	円筒形（石膏）を描く			紙の真中に納める	2
3	デッサン	円錐形（石膏）を描く			縦、横、奥行のバランス	2
4	デッサン	クララ像（石膏）を描く			縦、横、奥行のバランス	2
5	デッサン	アグリッパ像（石膏）を描く 半面			縦、横、奥行のバランス陰影のグラデーション	2
6	デッサン	アグリッパ像（石膏）を描く 半面			縦、横、奥行のバランス 陰影のグラデーション	2
7	デッサン	アグリッパ像（石膏）を描く 半面			縦、横、奥行のバランス陰影のグラデーション	2
8	デッサン	アグリッパ像（石膏）を描く 半面			縦、横、奥行のバランス 陰影のグラデーション	2
9	デッサン	アグリッパ像（石膏）を描く 半面			縦、横、奥行のバランス 陰影のグラデーション	2
10	デッサン	自画像を描く			縦、横、奥行のバランス 陰影のグラデーション	2
11	デッサン	自画像を描く			縦、横、奥行のバランス 陰影のグラデーション	2
12	デッサン	自画像を描く			縦、横、奥行のバランス 陰影のグラデーション	2
13	デッサン	人体クロッキーを描く			体のプロポーション 動きを捉える	2
14	デッサン	人体クロッキーを描く			体のプロポーション 動きを捉える	2
15	デッサン	人体クロッキーを描く			体のプロポーション 動きを捉える	2
その他	授業での学習の他に、自宅等での予習・復習を課す。					

教科名： デッサン（実習）		後期	教科担任： 長谷川 雅則（実務経験教員）			
学科名： ファッション・プロモート科 建築科(合同)		コース：	1年	単位数：	2 単位	
授業のねらい	工芸作家での実務経験を活かし、デッサンを通して立体の把握、プロポーション比例の仕組みを目で感じ取り、手で表現することを指導する。また、立体造形では粘土を用いてモチーフを自分なりのオリジナルティーあふれる表現をする。			前 期	2H×15W=30H	
				後 期	2H×15W=30H	
				合 計	60H	
目指す検定・資格	目標 デザイン力 取得可能な検定			教材費		
テキスト・教材	粘土製作用教材					
評価方法	後期：課題 出席状況 学習態度等を総合し評価する			その他		
時数	単元	授業内容（細目）			学習上の留意点	実時数
1	デッサン	身近なものを書く			紙と鉛筆になれよう	2
2	デッサン	円筒形（石膏）を描く			紙の真中に納める	2
3	デッサン	三角錐（石膏）を描く			縦、横、奥行きのバランス	2
4	デッサン	クララ像（石膏）を描く			縦、横、奥行きのバランス	2
5	デッサン	アグリッパ像（石膏）を描く			縦、横、奥行きのバランス 陰影のグラデーション	2
6	デッサン	パルテノンの首（石膏）を描く			縦、横、奥行きのバランス 陰影のグラデーション	2
7	粘土制作	ニンニクデッサン			プロポーションを捉える	2
8	粘土制作	ニンニク造型			プロポーションを捉える	2
9	粘土制作	ニンニク造型			プロポーションを捉える	2
10	粘土制作	色彩計画			オリジナルグラフィックデザイナー 色面構成	2
11	粘土制作	色彩計画			オリジナルグラフィックデザイナー 色面構成	2
12	粘土制作	毛の造形			手と腕のプロポーション 指のプロとーションを捉える	2
13	粘土制作	毛の造形			手と腕のプロポーション 指のプロとーションを捉える	2
14	粘土制作	毛の造形			手と腕のプロポーション 指のプロとーションを捉える	2
15	粘土制作	毛の造形			手と腕のプロポーション 指のプロとーションを捉える	2
その他	授業での学習の他に、自宅等での予習・復習を課す。					

教科名：ビッグデータマーケティング（講義）			通期		教科担任：山本絵里子（実務経験教員）				
学科名：ファッションプロモート科		コース：			1年		単位数：2単位		
授業のねらい		企業運営の経験を活かし、マーケティングについて指導する。物が売れる仕組みを作ることは社会にとって重要なことであり、クライアントからの商品開発やショップマスター、起業を考える上でもマーケティングは重要な基礎知識である。マーケティングの基本からwebの活用、ショップデザインに必要なビジュアルマーチャンドライジング、業界分析まで学ぶ。				60H			
目指す検定・資格		目標・なし 取得可能な検定				教材費			
テキスト・教材		知識ゼロからのマーケティング入門 広兼憲史著 印刷教材 50枚							
評価方法		前期 試験・レポート・課題 後期 試験・レポート・課題				その他			
時数	単元		授業内容（細目）				学習上の留意点		実時数
1	マーケティングとは		自分が欲しいものは何？ なぜ、人は買い物をするのか？ ニーズ、ウォンツ、シーズとは				問いかけにより経験を話し導入し、身近な課題だということを知らせる。		2
2	プロモーション戦略 ①ラジオ		FMラジオコンペに向けて本校CM案を作り、放送までの流れを知る ①ラジオCMの特徴と課題の提示				本校を選んだ動機をKJ法、マッピングでまとめる。		2
3			②ラジオCMの実例を知る（プロのアドバイス提示） ③コピー、SE、ナレーションの構成要素 ④放送時間				事例を多く聞く		2
4			⑤作成				声に出して話す		2
5			⑥ブラッシュアップ						2
6	プロモーション戦略 ②テレビ		①ラジオCMとテレビCMの違い ②本校CM案課題提示、放送までの流れを知る						2
7	プロモーション戦略 ②テレビ		テレビCM絵コンテ作成						2
8	マーケティング3Cとは		顧客、競合、自社を知る。				戦略の立案や計画の見通しに必要な知識を得る		2
9	STPとは		ターゲット、セグメンテーション、ポジショニング				市場と顧客の関係を理解する。		2
10	プロモーション戦略 ②テレビ		自身が作ったCMの発表						2
11	マーケティングミックス		4P、マーケティングの定義を知る。				売れるための仕組みづくりということを理解する。		2
12	ワークシート		各自進める						2
13	消費者心理について		顧客満足度を高めることの重要性を知る。				売るためには顧客を知る。 購買動機は何か1時間目を振り返りながら知識に結び付ける。		2
14	人の欲求の変化		人の欲求の変化(マズローの欲求の5段階)を知る。						2
15			AIDMAの法則とは						2
16			時代で変化してきたAISAS SIPPなどの最新のウェブ戦略における考え方の基礎				ネット時代の購買行動の変化を知る。		2
17	ライフスタイル		消費者分析として購買時期の分析、ライフスタイルがあることを知る。 イノベーター、オピニオンリーダー、AIO				人が購入するには		2
18	情報の収集と分析		マーケティングリサーチ				データの種類と収集方法		2
19	ワークシート		各自進める						2
20	自社と競合の分析		市場地位における戦略 リーダー、フォロワー、チャレンジャー ニッチャー				競争地位を知り、マネのできない差別化		2

21	経営資源の配布	PPMと	自分を商品として、就職活動に生かすためには、と身近に考える。	2
22	自社環境分析	SWOT分析	現状を把握し具体的な戦略へ	2
23	ワークシート	各自進める		2
24	製品戦略のポイントとは	製品とは「便益の束」 製品の分類	消費者ニーズに合わせた製品を提供しつづけるためにはどのようにしたら良いか考える	2
25		製品ラインと製品ミックス	最適な製品の組み合わせを考える	2
26		ライフサイクルを知る。 計画的陳腐化	製品にも一生がある どのように計画していくか	2
27	ブランド戦略	ブランドの定義と役割	ブランドの基本戦略	2
28		ナショナルブランドとプライベートブランド	主体はメーカーか流通側か	2
29	パッケージング	パッケージデザインと商品化、新製品の提供までの流れを知る。		2
30	新製品開発	新製品田誕生までのプロセス	開発手順を系統立てる	2
31	ワークシート	各自進める		2
32	価格戦略とは	価格がどのように決められるか		2
33		コストプラス法	コストに利益をプラス	2
34		需要志向と競争志向	値ごろ感と競合会社	2
35		上澄み吸収価格戦略 市場浸透価格戦略	早めに利益を刈り取る 低価格でシェア獲得	2
36		製品ミックス、端数価格、威光価格、割引	消費者心理に基づいた価格戦略	2
37	ワークシート	各自進める		2
38	流通チャネル戦略	流通チャネルとは 流通チャネル政策	川上から川下までの流通チャネルを知り、卸、小売店の役割を知る。	2
39		垂直的マーケティングシステム	統合されたシステムとして機能	2
40		卸売業者、小売業者の役割	機能と分類	2
41	プロモーション戦略とは	テレビ、ラジオ、ネットの他の戦略を知り、プロモーションミックスを行う。	顧客が買いたくなるような刺激づくりが重要であることを知る。その方法は1つではない。	2
42		人的戦略、イベントなどの活用方法など具体的戦略を知る。		2
43	ワークシート①	各自進める	理解を深める	2
44	ワークシート②	各自進める	理解を深める	2
45	ワークシート③	各自進める	理解を深める	2
その他	授業での学習の他に、自宅等での予習・復習を課す			

教科名：ファッションデザイン1（講義）		前期		教科担任：沼澤 玲菜(実務経験教員)		
学科名：ファッション・プロモート		コース：ファッションFS きものKM		1、2年	単位数：2単位	
授業のねらい	イラストレーターの実務経験を活かし、クリエイティブな感性と想像力の強化を図り魅力的なデザイン画が描けるように指導する。			前 期	2H×15W=30H	
				後 期	2H×15W=30H	
				合 計	60H	
目指す検定・資格	目標			教材費		
	取得可能な検定					
テキスト・教材	ファッションデザインテクニック					
評価方法		前期：課題、授業態度、出席状況を総合して評価する			その他	
時数	単元	授業内容（細目）		学習上の留意点		実時数
1	ドローイング基礎1	テーマ好きな物+春		自由に描く		2
2	自己紹介	自己紹介カード作成 発表		自己開示 自己表現 コミュニケーション能力を養う		2
3	似顔絵	ペアになってお互いの似顔絵を描く		相手をよく観察して描く		2
4	スケッチ1	花のスケッチ		よく観察して描く		2
5	クロッキー1	3分クロッキー		複のコーディネートや素材を観察		2
6	スケッチ2					2
7	クロッキー2					2
8	スケッチ3					2
9	クロッキー3					2
10	ドローイング1	8頭身のプロポーション		コンテスト提出に向けて		2
11	ドローイング2	着装		人体と布の関係 光と影の方向性と素材感の出し方の研究		2
12	ドローイング3	ポーズと着装		ドレープ シワの出し方 その表現方法を試す		2
13	ドローイング4	彩色		絵の具の使い方、デザイン画作成のプロセスの体験		2
14	ドローイング5	彩色		絵の具の使い方、デザイン画作成のプロセスの体験		2
15	ドローイング6	彩色		絵の具の使い方、デザイン画作成のプロセスの体験		2
その他	授業での学習の他に、自宅等での予習・復習を課す					

教科名：ファッションデザイン1（講義）			後期		教科担任：沼澤 玲菜（実務経験教員）				
学科名：ファッション・プロモート		コース：FS KM			1年	単位数：	2 単位		
授業のねらい		服飾デザイナーの実務経験を活かし、ファッションデザインに必要な基礎を、デザイン画として表現することを通じて学び指導する。さらにクリエイティブな感性と企画力の強化をはかり、実践的なビジネス力を身につけることを目指す。				前 期	2H×15W=30H		
						後 期	2H×15W=30H		
						合 計	60H		
目指す検定・資格		目標 コンテスト				教材費			
		取得可能な検定 ファッションビジネス能力検定試験 3 級							
テキスト・教材		ファッションデザインテクニック							
		ファッションビジネス 1 （3 級準拠）							
		ファッションビジネス能力検定試験 3 級項目別試験問題・解答集							
評価方法		後期： 課題、授業態度、出席状況を総合して評価する				その他			
時数	単元	授業内容（細目）			学習上の留意点				実時数
1	アイラム平図 1	作成可能なデザイン画の基礎としてカットソー、ブラウス			製図制作方法の情報がわかるデザイン画作成の方法を基礎から学ぶ。				2
2	アイラム平図 2	シャツ スカート 平面図 アイテム研究			アイテムの種類や歴史を調べ描き方のバリエーションを広げる。				2
3	アイラム平図 3	ワンピース 平面図 アイテム研究			上下のバランスのとり方を寸法の割り出し方を学ぶ。				2
4	アイラム平図 4	ジャケット スーツ 平面図 アイテム研究			伝統的な服作りの情報の代表であるジャケットを学ぶ。				2
5	アイラム平図 5	ジャンパー 平面図 アイテム研究			機能性による衣服の変化 デザインを考慮する。				2
6	アイラム平図 6	パンツ コート 平面図 アイテム研究			コートの種類や歴史も一緒に学ぶ。				2
7	アイラム平図 7	着色 素材の描き分け			柄 テック 千鳥 ツイード 皮などの素材を描いてみる。				2
8	ドローイング5	ポーズと着装の基礎			ポーズをとった時の服の変化				2
9	ドローイング6	ポーズバリエーション			様々なポーズを描いてみる。				2
10	ドローイング7	ポーズバリエーション			様々なポーズを描いてみる。				2
11	ブランド創造 1	イメージ SD法 配色			イメージを表現する2つの配色をする。				2
12	ブランド創造2	配色と形、素材のイメージ			SD法の表上で分析する。さらに形と素材のイメージを分析する。				2
13	ブランド創造3	ブランドを調べる			ブランドのコンセプト、デザイン企画、販売を調べる。				2
14	企画書作成 1	ブランドを創る			企画書の作成 ワークシート企画書を作ってみる。				2
15	企画書作成 2	ブランドを創る			ブラッシュアップ 発表				2
その他	授業での学習の他に、自宅等での予習・復習を課す								

教科名：ガーデニング製図1(実習)			通期	教科担任：山本幹雄（実務経験教員）		
学科名：ファッション・プロモート科		コース：FDフラワーデザイン		1年		単位数：4単位
授業のねらい		建築系で住宅設計の実務経験を持つ指導者の下、ガーデニングに必要な製図の知識・技術を指導し、実際に製図を行いながらガーデニング製図に必要な知識を学習する。また、課題制作により製図技術を習得する。		前 期		4H×15W=90H
				後 期		2H×15W=30H
				合 計		120H
目指す検定・資格		目標 取得可能な検定		教材費		
テキスト・教材		やさしい造園図面の描き方 その他プリント等製図用品				
評価方法		前期：試験 ・レポート・課題 授業態度 出席 状況を総合する。 後期：試験 ・レポート・課題 授業態度 出席 状況を総合する。		その他		
時数	単元	授業内容（細目）		学習上の留意点		実時数
1	オリエンテーション	製図とは何か 製図用具の使い方 設計とは		製図用具の扱い方 JIS規格について 製図することの意味		6
2	線の練習	基本的な線の練習 定規を使った線・フリーハンドの線 作図法 実習		正しい線・製図用具を使った線 実線・一点鎖線・破線 作図方法・図学について 線の練習		12
3	基本作図	文字・数字 作図課題に基づいた基本図形の作図実習 課題		図面上の文字について JIS規格の文字 数字・文字の練習		8
4	設計図書	ガーデニングデザインに必要な設計図書とは JIS規格に基づく製図とは		設計図書までの流れ ガーデニングに必要な図面 設計図の伝えるもの		8
5	平面図・配置図	平面図・配置図の意味 平面図・配置図の模写 課題図面		平面図・配置図に描くもの 実際の平面図を模写してみる		8
6	寸法・縮尺・	図面のスケールとは 縮尺の計算		寸歩記入の方法 縮尺の計算三角スケールを使う		8
7	植栽図	植栽・草花・ファニチャー等の練習 平面・立面での描写 作図実習		植栽の描き方の実習 点景の描き方の実習 立面の表現を実習		12
8	立面図	立面図とは 立面図の描き方 模写		立面図に描くもの 実際の立面図を描いてみる		8
9	後期 ガーデン実習	ガーデン見学 実際の庭をスケッチに起こす		近郊のガーデンを見学してみる 写真撮影 スケッチをしてみる		8
10	断面図	断面図とは 断面図の描き方 模写		断面図に描くもの 実際の断面図を模写してみる		8
11	パース	パースの作図方法 作図実習		鳥瞰図の描き方を学ぶ 作図を行う		8
12	作家研究	ガーデニングデザイナーの作品を研究し その手法を学ぶ レポート		有名作家の手法を学ぶ 分析の方法を学ぶ レポートの書き方を学ぶ		8
13	模写	今までの学習に基づいて庭園図面の模写		より高度なガーデニング図面の模写		8
14	模写	今までの学習に基づいて庭園図面の模写		より高度なガーデニング図面の模写		8
15	予備	演習等		補修項目		2
その他	授業での学習の他に、自宅等での予習・復習を課す					

教科名：ビッグデータマーケティング（講義）			通期	教科担任：山本絵里子（実務経験教員）		
学科名：医薬事務・企業会計科		コース：		1年	単位数：2単位	
授業のねらい		企業運営の経験を活かし、マーケティングについて指導する。物が売れる仕組みを作ることは社会にとって重要なことであり、クライアントからの商品開発やショップマスター、起業を考える上でもマーケティングは重要な基礎知識である。マーケティングの基本からwebの活用、ショップデザインに必要なビジュアルマーチャンダイジング、業界分析まで学ぶ。			60H	
目指す検定・資格		目標・なし 取得可能な検定			教材費	
テキスト・教材		知識ゼロからのマーケティング入門 広兼憲史著 印刷教材 50枚				
評価方法		前期 試験・レポート・課題 後期 試験・レポート・課題			その他	
時数	単元	授業内容（細目）			学習上の留意点	実時数
1	マーケティングとは	自分が欲しいものは何？ なぜ、人は買い物をするのか？ ニーズ、ウォンツ、シーズとは			問いかけにより経験を話し導入し、身近な課題だということを知らせる。	2
2	プロモーション戦略 ①ラジオ	FMラジオコンペに向けて本校CM案を作り、放送までの流れを知る ①ラジオCMの特徴と課題の提示			本校を選んだ動機をKJ法、マッピングでまとめる。	2
3		②ラジオCMの実例例を知る（プロのアドバイス提示） ③コピー、SE、ナレーションの構成要素 ④放送時間			事例を多く聞く	2
4		⑤作成			声に出して話す	2
5		⑥ブラッシュアップ				2
6	プロモーション戦略 ②テレビ	①ラジオCMとテレビCMの違い ②本校CM案課題提示、放送までの流れを知る				2
7	プロモーション戦略 ②テレビ	テレビCM絵コンテ作成				2
8	マーケティング 3Cとは	顧客、競合、自社を知る。			戦略の立案や計画の見通しに必要な知識を得る	2
9	STPとは	ターゲット、セグメンテーション、ポジショニング			市場と顧客の関係を理解する。	2
10	プロモーション戦略 ②テレビ	自身が作ったCMの発表				2
11	マーケティングミックス	4P、マーケティングの定義を知る。			売れるための仕組みづくりということを理解する。	2
12	ワークシート	各自進める				2
13	消費者心理について	顧客満足度を高めることの重要性を知る。			売るためには顧客を知る。 購買動機は何か1時間目を振り返りながら知識に結び付ける。	2
14	人の欲求の変化	人の欲求の変化(マズローの欲求の5段階)を知る。				2
15		AIDMAの法則とは				2
16		時代で変化してきたAISAS SIPPSなどの最新のウェブ戦略における考え方の基礎			ネット時代の購買行動の変化を知る。	2
17	ライフスタイル	消費者分析として購買時期の分析、ライフスタイルがあることを知る。 イノベーター、オピニオンリーダー、AIO			人が購入するには	2
18	情報の収集と分析	マーケティングリサーチ			データの種類と収集方法	2
19	ワークシート	各自進める				2
20	自社と競合の分析	市場地位における戦略 リーダー、フォロワー、チャレンジャー ニッチャー			競争地位を知り、マネのできない差別化	2
21	経営資源の配布	PPMと			自分を商品として、就職活動に生かすためには、と身近に考える。	2
22	自社環境分析	SWOT分析			現状を把握し具体的な戦略へ	2

23	ワークシート	各自進める		2
24	製品戦略のポイントとは	製品とは「便益の束」 製品の分類	消費者ニーズに合わせた製品を提供しつづけるためにはどのようにしたら良いか考える	2
25		製品ラインと製品ミックス	最適な製品の組合わせを考える	2
26		ライフサイクルを知る。 計画的陳腐化	製品にも一生がある どのように計画していくか	2
27	ブランド戦略	ブランドの定義と役割	ブランドの基本戦略	2
28		ナショナルブランドとプライベートブランド	主体はメーカーか流通側か	2
29	パッケージング	パッケージデザインと商品化、新製品の提供までの流れを知る。		2
30	新製品開発	新製品誕生までのプロセス	開発手順を系統立てる	2
31	ワークシート	各自進める		2
32	価格戦略とは	価格がどのように決められるか		2
33		コストプラス法	コストに利益をプラス	2
34		需要志向と競争志向	値ごろ感と競合会社	2
35		上澄み吸収価格戦略 市場浸透価格戦略	早めに利益を刈り取る 低価格でシェア獲得	2
36		製品ミックス、端数価格、威光価格、割引	消費者心理に基づいた価格戦略	2
37	ワークシート	各自進める		2
38	流通チャネル戦略	流通チャネルとは 流通チャネル政策	川上から川下までの流通チャネルを知り、卸、小売店の役割を知る。	2
39		垂直的マーケティングシステム	統合されたシステムとして機能	2
40		卸売業者、小売業者の役割	機能と分類	2
41	プロモーション戦略とは	テレビ、ラジオ、ネットの他の戦略を知り、プロモーションミックスを行う。	顧客が買いたくなるような刺激づくりが重要であることを知る。その方法は1つではない。	2
42		人的戦略、イベントなどの活用方法など具体的戦略を知る。		2
43	ワークシート①	各自進める	理解を深める	2
44	ワークシート②	各自進める	理解を深める	2
45	ワークシート③	各自進める	理解を深める	2
その他	授業での学習の他に、自宅等での予習・復習を課す			

教科名：計算実務 1（演習）		通 期	教科担任：五十嵐 浩 （実務経験教員）			
学科名：医薬事務・企業会計科 医療事務科		コース：		単位数： 2 単位		
授業のねらい		法人事務部で勤務経験のある教員が、その経験を基に商業計算について指導を行う。電卓の各種機能を知り、計算の速さ・正確さなどの操作能力を身につける。また、日常的にお金に係る経理・財務部門、販売・営業部門等が必要となる商業計算もマスターし、業務遂行能力を高める。		前 期 2H×15W=30H 後 期 2H×15W=30H 合 計 60H		
目指す検定・資格		目標 全経電卓能力検定 1 級・2 級 取得可能な検定 全経計算実務能力検定 3 級		教材費		
テキスト・教材		電卓計算直前模試 ・ 電卓 計算実務直前模試				
評価方法		前期：検定試験・レポート・課題 後期：検定試験・レポート・課題		その他		
時数	単元	授業内容（細目）			学習上の留意点	実時数
1	電卓操作（見取算）（複合）	見取算、複合算の説明			電卓を見ず操作できるよう練習	2
2	電卓操作（伝票算）	伝票算の説明			スムーズに伝票をめくり電卓操作ができる	2
3	電卓操作（乗算）（除算）	乗算、除算の説明			電卓の機能を使い、複雑な計算が出来る	2
4	上記事項の繰り返し練習	正確、かつ、素早く電卓操作ができるよう繰り返し練習				2
5	上記事項の繰り返し練習	正確、かつ、素早く電卓操作ができるよう繰り返し練習				2
6	上記事項の繰り返し練習	正確、かつ、素早く電卓操作ができるよう繰り返し練習				2
7	計算実務（帳票計算）	仕入帳、総勘定元帳、現金出納帳などの金額を求める			繰り返し問題を解く	2
8	計算実務（伝票計算）	伝票を計算し、合計金額などを求める			繰り返し問題を解く	2
9	計算実務（商業計算）	割合の計算、歩合算、損益の計算、利息の計算を行う			繰り返し問題を解く	2
10 ～ 14	電卓操作の習熟	これまで学習した電卓機能を使い、乗算、除算、見取り算、複合算、伝票算を正確に一定時間内で処理できるように反復練習を行う。習熟度をあげて、7月には、電卓検定合格レベルに到達する。			制限時間内に合格点を取れるよう反復練習	10
15	計算実務	直前模試プリントによる練習			特に商業計算はしっかり習得する	2
その他	授業での学習の他に、予習・復習を課す					

時数	単元	授業内容（細目）	学習上の留意点	実時数
16 ～ 18	計算実務	仕入帳、総勘定元帳、現金出納帳などの金額を求める。伝票を計算し、合計金額などを求める。割合の計算、歩合算、損益の計算、利息の計算を行う。商業計算は、何度も反復する。理解度をあげて、10月には、計算実務検定合格レベルに到達する。	繰り返し問題を解く。特に、自分の苦手分野に取り組む。	6
19 ～ 21	電卓操作の習熟	これまで学習した電卓機能を使い、乗算、除算、見取り算、複合算、伝票算を正確に一定時間内で処理できるように反復練習を行う。7月時よりも計算力を高め、上位級レベルに到達する。	制限時間内に合格点を取れるよう反復練習	6
22	計算実務	帳票計算、伝票計算、商業計算の復習	苦手問題を意識して解く。	2
23	電卓操作の習熟	乗算、除算、見取り算、複合算、伝票算	操作方法などに工夫をしながら取り組む	2
24	計算実務	帳票計算、伝票計算、商業計算の復習	苦手問題を意識して解く。	2
25	電卓操作の習熟	一定時間内で処理できるように反復練習を行う。習熟度をあげて、12月には、電卓検定合格レベルに到達する。	時間内に合格点を取れるよう反復練習	2
26 ～ 29	計算実務	仕入帳、総勘定元帳、現金出納帳などの金額を求める。伝票を計算し、合計金額などを求める。割合の計算、歩合算、損益の計算、利息の計算を行う。商業計算は、何度も反復する。理解度をあげて、1月には、計算実務検上位級合格レベルに到達する。	理解を深めるため繰り返し学習	8
30	総括	2月の電卓検定を1年間の最終検定として、計算力を高める。	合格に向けて繰り返し練習	2
その他	授業での学習の他に、予習・復習を課す			

教科名：ヘルスサポート（演習）		後期	教科担任：後藤 美恵（実務経験者）		
学科名： 医薬事務・企業会計科 医療事務科		コース：		単位数：1単位	
授業のねらい		地域総合型スポーツクラブの運営・指導に携わる教員が、その経験を活かして、心と体の健康について指導する。		前 期 0H×15W= 0H 後 期 2H×15W=30H 合 計 30H	
目指す検定・資格				教材費	
テキスト・教材					
評価方法		前期：レポート・課題 後期：レポート・課題		その他	
時数	単元	授業内容（細目）		学習上の留意点	実時数
1	健康チェック	DIY健康診断を実施し自分を知る		体の仕組みを知る	4
2	心理学	メンタルヘルス 人間学 欲求		解決法	10
3	ストレス	ストレスとは 症状 ストレスチェック		心の健康とは	2
4	骨ストレッチ	ストレッチ方法		体の仕組みを知る	2
5	血管・血糖	血管リスク 血栓とは 3代合併症			2
6	パークゴルフ	パークゴルフというスポーツを通して交流を深める		体を動かす	4
7	ウォーキング	有酸素運動の強化		体を動かす	4
8	ロコモティブシンドローム	運動機能障害		ロコモの予防	2
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
その他	上記授業計画の他に、予習・復習（生活での実践）を課すものとする。				

教科名：メディカルアロマ（講義）			前期	教科担任：山本絵里子（実務経験教員）		
学 科 名 医薬事務・企業会計科		コース：		1年	単位数：2単位	
授業のねらい		日本アロマ協会アロマセラピーアドバイザー、日本アロマ環境協会アロマインストラクターとして、健康予防に関する指導を行う指導者の下、アロマセラピーとは何かを理解し健康に日常生活の質を上げるために香りをどのように活用していったらよいかの基礎を学ぶ。2年次5月の検定取得のための基礎知識を学ぶ。また、マッサージ（トリートメント）の基礎的技術手法を身につける。□□			前 期 2H×15W=30H 後 期 2H×15W=30H 合 計 60H	
目指す検定・資格		目標 日本アロマ環境協会1級、2級アロマセラピー検定（2年次5月受験） 取得可能な検定 日本アロマ環境協会アドバイザー（2年次6月講習取得）環境カオリスタ検定			教材費	エッセンシャルオイル 検定対応1級B 4200円 他基材3000円
テキスト・教材		日本アロマ環境協会1級・2級アロマセラピー検定テキスト アロマ検定問題集合格テキスト&模擬問題 アロマセラピー検定公式問題集 印刷教材				
評価方法		前期：試験 課題 授業態度 出席状況を総合して評価する。			その他	
時数	単元	授業内容（細目）			学習上の留意点	実時数
1	アロマセラピーの基本	アロマセラピーを安全に使うための注意と利用法 実習 芳香浴			健康に活かし、安全に楽しむためにプロとして指導するために何度も注意を確認しておく。	2
2	アロマセラピーを生活に取り入れる。	空間づくりのためにアロマの効果を活用しながら空間を清潔に保つ。			ただの空間演出だけでなく、心理的、科学的根拠を理解して体にも環境にもやさしいアロマを使う。	2
3	エッセンシャルオイルの特性	エッセンシャルオイルの化学性と性質の違いを理解する。			エッセンシャルオイルのそれぞれの香りから受ける印象を大切にし、特色を覚える。	2
4	基材の化学性	有機化合物とは何か、基材の種類と特性を理解し、使う目的や肌質に合わせる。			エッセンシャルオイルの成分が塩基により特性、名称が変わることを理解する。	2
5	実習	バスソルトを作る。 重曹、クエン酸の役割と効用			症状を改善するたにエッセンシャルオイルと基材の組み合わせを応用する。	2
6	実習	香りで涼しさを演出する手法を学ぶ ハーブアレンジメント+保水ジェル+ミント			体感温度にも影響を及ぼすことができる。より涼しさを演出する。	2
7	健康学	身体を整えるしくみや身体作り（栄養、運動、病気）を知る。			人間の持つ恒常性を十分に引き出し、健康を守るために栄養、運動、休養が必要である。	2
8	健康学 内臓	身体の器官（内臓）について知る			内臓、器官がどのような働きで、どこにあるか、自分の体に責任を持つ	2
9	健康学 病気	メタボリックシンドローム、ロコモシンドローム高血圧、梗塞などどのような成人にどんな病気が起こるかをを知る			中高年以降起こりやすい病気の原因と予防について知る。	2
10	健康学 女性特有の病気	女性に起こりやすい、女性器官と特有の病気について理解する。			更年期以降女性のホルモンバランスがくずれ起こる病気について知る。	2
11	健康学 神経	交感神経と副交感神経、脳と神経についてしくみを学ぶ			言葉は聞いたことがあるが理解できていない部分を理解する。	2
12	健康学 ストレス	ストレスとは何か、ストレスの軽減、コントロールの方法について理解する（自律神経の働き含む）			ストレスの軽減についてアロマセラピーが心理的に有効であることを知る。	2
13	健康学 睡眠	健康を守るためには休養と睡眠が必要であり、睡眠についてのしくみを理解する。睡眠のサイクル、NON-REM睡眠の特色を知る。			神経との関係、人間にとって健康維持に大切な睡眠であることを理解する。	2
14	健康学 運動効果	運動効果について理解する。 運動の種類と効果を知り、病気の予防と改善に活かす。			病気を予防するうえでも、生活の質を上げるうえでも必要な知識を得る。	2
15	健康学 栄養	栄養バランスを理解する。 6大栄養素とは、カロリーとの関係など基礎的知識を得る。			人間が生きていくために食事の栄養不可欠であり、働きについて認識を持たせる。	2
その他	授業での学習の他に、自宅等での予習・復習を課す					

教科名：メディカルアロマ（講義）			後期	教科担任：山本 絵里子（実務経験教員）		
学科名：医薬事務・企業会計科		コース：医薬事務	1年		単位数：2単位	
授業のねらい		日本アロマ協会アロマセラピーアドバイザー、日本アロマ環境協会アロマインストラクターとして、健康予防に関する指導を行う指導者の下、アロマセラピーとは何かを理解し健康に日常生活の質を上げるために香りをどのように活用していったらよいかの基礎を学ぶ。2年次5月の検定取得のための基礎知識を学ぶ。また、マッサージ（トリートメント）の基礎的技術手法を身につける。			前 期 2H×15W=30H 後 期 2H×15W=30H 合 計 60H	
目指す検定・資格		目標 日本アロマ環境協会1級、2級アロマセラピー検定（2年次5月受験） 取得可能な検定 日本アロマ環境協会アドバイザー（2年次6月講習取得） 環境カオリスタ検定			教材費	
テキスト・教材		日本アロマ環境協会1級・2級アロマセラピー検定テキスト アロマ検定問題集合格テキスト&模擬問題 アロマセラピー検定公式問題集 印刷教材				
評価方法		後期：試験 課題 授業態度 出席状況を総合して評価する。			その他	
時数	単元	授業内容（細目）			学習上の留意点	実時数
1	健康学 ダイエット	前回学んだ運動と栄養を活用し、健康的なダイエットの正しい知識が得られるよう理解する。			学んだ知識を総括し、積極的に健康管理でき、アドバイスできるようにする。	2
2	健康学 皮膚	アロマセラピーが体内に浸透する経路として皮膚から侵入し血液循環する重要な組織である。			日常のスキンケアアドバイスができるようにする。	2
3	健康学 骨格	骨格について正しく覚える			自分の体でありながら、どこでどうつながり、動くのか知らない。ボディトリートメントをするにあたり、筋肉や骨の位置、リンパを流すために正しい知識を習得する。	2
4	健康学 筋肉	筋肉について正しく覚える			〃	2
5	健康学 リンパ	リンパについて正しく覚える			〃	2
6	実習	セルフコスメとしてボディクリームを作る。 ビーズワックス、シアバターを作ってコスメ作り			カサツキを抑え、保湿する冬の体メンテナンスのためクリームを作る。	2
7	ボディトリートメント 講義	手技の種類と効果、注意事項などボディトリートメントの基礎技術を学ぶ。			指の使い方、腕の動かし方、施術者の姿勢など効果と共に基礎知識を得る。	2
8	ボディトリートメント 実習 顔	セルフトリートメントの技術を学ぶ ①顔のトリートメント			基礎知識をもとにパーツ毎に分けてトリートメント技術を習得し、全身へとつなげてい 体格や感じ方は人によって違うため、力加減、スピードなど心地好いと思われる施術を体験を通して獲得する。	2
9	ボディトリートメント 実習 四肢	セルフトリートメントの技術を学ぶ ②四肢のトリートメント			〃	2
10	ボディトリートメント 実習	下半身(前面)のマッサージ基礎を学ぶ			〃	2
11	ボディトリートメント 実習	上半身(前面)のマッサージ基礎を学ぶ			〃	2
12	ボディトリートメント 実習 全身	全身のマッサージを習得する			〃	2
13	ボディトリートメント 実習 全身	全身のマッサージを習得する			〃	2
14	自分だけのオリジナルの香りを作る	香りの要素ノートを学び精油の香りの特徴と持続時間を考慮し、自分だけのオリジナルの香りをブレンドする。			学んできたことを総合し目的に合った香りを調合する。	2
15	自分だけのオリジナルの香りを作る	香りの要素ノートを学び精油の香りの特徴と持続時間を考慮し、自分だけのオリジナルの香りをブレンドする。			学んできたことを総合し目的に合った香りを調合する。	2
その他	授業での学習の他に、自宅等での予習・復習を課す					

教科名：ファイナンシャルプランニング（講義）		通期	教科担任： 山口康晃（実務経験教員）			
学科名：医療事務・企業会計科 医療事務科		コース：企業会計		2年	単位数：7単位	
授業のねらい		経営研究所で勤務経験のある教員が、その経験をいかし指導する。1年次に学習したFP基礎を土台にして、ファイナンシャルプランニングについてより深く学び、ファイナンシャルプランナー試験合格も目指す。			前期 6H×15W = 90H 後期 8H×15W = 120H 合計 210H	
目指す検定・資格		目標：FP3級技能士			教材費	
テキスト・教材		ナツメ社一発合格テキスト・成美堂重要過去問				
評価方法		出席率・期末考査にて評価			その他	
時数	単元	授業内容（細目）			学習上の留意点	実時数
1	ライフプランニングと資金計画	ファイナンシャルプラン理論と法規、考え方及び手法を学ぶ。			原則と倫理をしっかりとさえる。	6
2	ライフプランニングと資金計画	社会保険の種類と概要。年金と税金。ローンと資金計画。			社会保険の基本と年金、ライフプラン上の資金計画学ぶ。	6
3	リスク管理	生保・損保の基本を学ぶ。			リスクにおける保険のあり方をキリンと押さえる。	6
4	リスク管理	保険の掛け金とその保障の範囲を学びそれに関わる税金について学ぶ。			保障の範囲をしっかりと押さえる。	6
5	金融資産運用	景気と金利、物価、為替の関係を理解し、各投資について学ぶ。			各運用の仕方を理解し投資信託の分類を押さえる。	6
6	金融資産運用	債券投資、株式投資について学ぶ			投資指数（PER、PBR）をしっかりと学ぶ。	6
7	タックスプランニング	わが国の税制・各所得と損益通算について。			所得税の基本その計算方法をしっかりと学ぶ	6
8	タックスプランニング	所得控除と納税申告。事業税と住民税。			所得控除項目を学ぶ。事業税、住民税の仕組みを学ぶ	6
9	不動産	不動産の見方・取引・法令・税金等を学ぶ。			不動産登記・公示価格、路線価、評価等を覚える。	6
10	不動産	譲渡やその税金。有効活用と不動産の証券化を学ぶ。			建築基準法、都市計画法や証券化をする意味について学ぶ	6
11	相続・事業継承	贈与税・民法における相続に関する基本事項を学ぶ。			贈与税と相続税とその法律をマスターする。	6
12	相続・事業継承	相続税や相続対策について理解する。			相続資産評価・相続対策について学ぶ。	6
13	学科科目まとめ	問題実施			ライフプラン資金計画、リスク管理についての学科問題を実施	6
14	学科科目まとめ	問題実施			金融資産運用・タックスプラン学科問題実施	6
15	学科科目まとめ	問題実施			不動産、相続事業継承の問題実施	6
その他	上記授業計画の他に、予習・復習を課すものとする。					

時数	単元	授業内容（細目）	学習上の留意点	実時数
16	実技・ライフプランニングと資金計画	国民年金、老齢基礎年金、雇用保険 支払や受給についての問題を解決する	計算式、用語当を再確認する。	8
17	実技・ライフプランニングと資金計	小規模企業共済、遺族年金の実務に関する受取範囲の問題を 解決する。	学科問題の応用・年金の再確認	8
18	実技・金融資産運用	MMF、N I S A、株式投資に関する事例についての問題を解決する。	学科問題の応用・金融商品のデメリット	8
19	実技・金融資産運用	債券利回り、株式投資指標について学ぶ。	学科問題の応用・指標を覚える	8
20	実技・タックスプランニング	住宅借入金控除、所得税申告、青色申告に関する実務レベルの問題を解決する。	学科問題の応用・計算や記入の仕方をマスター。	8
21	実技・タックスプランニング	配偶者特別控除、医療費控除に関する問題の解決	学科問題の応用・計算の仕方をマスター。	8
22	実技・不動産	不動産登記、建築建蔽率、マンション購入、住宅品質確保保障についての問題を解決	学科問題の応用・登記の方法住宅建設の基本をマスター。	8
23	実技・不動産	不動産譲渡、賃貸利回り、建設基準に関する問題の解決	学科問題の応用・資産運用と住宅の法律を確認。	8
24	実技・相続・事業継承	遺言、死亡保険金、法定相続の問題に関する問題を解決	学科問題の応用・相続に関するしっかり学ぶ。	8
25	実技・相続・事業継承	遺産に関する基礎控除、相続税、軽減税額の計算。	学科問題の応用・税金に関する申告方法をしっかり学ぶ。	8
26	実技・リスク管理	教育資金、必要保障、老後生活資金、介護保険等の関連した計算	学科問題の応用・教育保険や老後保障、介護保険利用を学ぶ	8
27	実技・リスク管理	終身保険、個人年金、保険料の経理処理、長期平準定期保険の問題解決	学科問題の応用・生命、損害、自動車各保険をマスター。	8
28	実技・資金設計提案	関連事業キャッシュフロー、四季報読取り、個人バランス、疾病手当等関連事項	学科問題の応用	8
29	模擬試験	過去問題を使用し、理解の確認を行う	時間内に終了させる	8
30	模擬試験	過去問題を使用し、理解の確認を行う	時間内に終了させる	8
その他	上記授業計画の他に、予習・復習を課すものとする。			

教科名：ヘルスサポート（演習）			後期	教科担任：後藤 美恵（実務経験者）			
学科名：医療事務科 医薬事務・企業会計		コース：		単位数：1単位			
授業のねらい		地域総合型スポーツクラブの運営・指導に携わる教員が、その経験を活かして、心と体の健康について指導する。			前 期 0H×15W= 0H 後 期 2H×15W=30H 合 計 30H		
目指す検定・資格					教材費		
テキスト・教材							
評価方法		前期：レポート・課題 後期：レポート・課題			その他		
時数	単元	授業内容（細目）			学習上の留意点		実時数
1	健康チェック	DIY健康診断を実施し自分を知る			体の仕組みを知る		4
2	心理学	メンタルヘルス 人間学 欲求			解決法		10
3	ストレス	ストレスとは 症状 ストレスチェック			心の健康とは		2
4	骨ストレッチ	ストレッチ方法			体の仕組みを知る		2
5	血管・血糖	血管リスク 血栓とは 3代合併症					2
6	パークゴルフ	パークゴルフというスポーツを通して交流を深める			体を動かす		4
7	ウォーキング	有酸素運動の強化			体を動かす		4
8	ロコモティブシンドローム	運動機能障害			ロコモの予防		2
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
その他	上記授業計画の他に、予習・復習（生活での実践）を課すものとする。						

教科名： F P 基礎（講義）			後 期	教科担任：山口靖晃（実務経験教員）			
学科名：医療事務科			コース：		1年	単位数：1 単位	
授業のねらい		経営研究所（コンサルティング研修事業）で勤務経験のある教員が、その経験をいかし、経営に関する指導を行う。ファイナンシャルプランナー（F P）の試験項目に基づいて、生活に必要な基礎知識を学習し、社会活動に活かす狙い。			前期 0H×15W = 0H 後期 2H×15W = 30H 合計 30H		
目指す検定・資格		目標：F P 3 級技能士レベルになる。			教材費		
テキスト・教材		講師にてプリント準備					
評価方法		記述試験及び後期出席率にて評価。			その他		
時数	単元	授業内容（細目）			学習上の留意点		実時数
1	オリエンテーション 税金	全体的学習の流れ 税金の種類について			身近な税金について理解する。		2
2	所得税とは	所得とは、身近な給与所得、一時所得など所得を実際計算してみる。			所得税の計算方法をしっかり学ぶ		2
3	消費税とは	2 0 1 9 年 1 0 月から変わった消費税法について学ぶ。			消費税の身近さを感じながら学ぶ。		2
4	法人税とは	法人税とは、実際にその法事税申告書を作成してみる。			法人税についてその種類につて理解する		2
5	保険の種類（1）	保険の種類とその適用について学習			保険の法律について理解する		2
6	保険の種類（2）	わが国の保険制度について、保険の機能につて学ぶ			詐欺事件や保険に係る犯罪について理解する		2
7	生命保険	生命保険について、第3分野保険について 学ぶ			生命保険の種類をしっかりと区別する		2
8	損害保険	損害保険・傷害保険、自動車保険について詳しく学ぶ			損害保険の特色と特に自動車保険について理解する。		2
9	貯金・預金	預金の現状と郵貯・農協・リテールバンクについて			いろんな預金の有用性を知る。		2
10	普通預金	普通預金の大事な事項			私生活における流動性は現金より重要なことを理解する。		2
11	定期預金	定期預金の運用方法と総合口座について学ぶ			定期預金の必要性について、理解する。		2
12	当座預金	当座預金の開設方法とその運用について			小切手、手形、掛け取引など預金証明について重要口座について理解する。		2
13	F X 投資ファンド	F X の仕組みとそのやり方について学ぶ			その有用性と危険性について		2
14	株式投資 投資信託	株式投資とは、株式投資信託について学ぶ			経済との関係性について理解する。		2
15	まとめ	生活におけるお金の運用方法と今後について。			F P への受験を目指しより学習を勧める。		2
その他	上記授業計画の他に、予習・復習を課すものとする。						

教科名：メディカルアロマ（講義）		前期	教科担任：山本絵里子（実務経験教員）		
学科名：医療事務科 医薬事務・企業会計科		コース：	1年	単位数：	2単位
授業のねらい		日本アロマ協会アロマセラピーアドバイザー、日本アロマ環境協会アロマインストラクターとして、健康予防に関する指導を行う指導者の下、アロマセラピーとは何かを理解し健康に日常生活の質を上げるために香りをどのように活用していったらよいかの基礎を学ぶ。2年次5月の検定取得のための基礎知識を学ぶ。また、マッサージ（トリートメント）の基礎的技術手法を身につける。		前 期 2H×15W=30H 後 期 2H×15W=30H 合 計 60H	
目指す検定・資格		目標 日本アロマ環境協会1級、2級アロマセラピー検定（2年次5月受験） 取得可能な検定 日本アロマ環境協会アドバイザー（2年次6月講習取得） 環境カオリスタ検定		教材費	エッセンシャルオイル 検定対応1級B 4200円 他 基材3000円
テキスト・教材		日本アロマ環境協会1級・2級アロマセラピー検定テキスト アロマ検定問題集合格テキスト&模擬問題 アロマセラピー検定公式問題集 印刷教材			
評価方法		前期：試験 課題 授業態度 出席状況を総合して評価する。		その他	
時数	単元	授業内容（細目）		学習上の留意点	実時数
1	アロマセラピーの基本	アロマセラピーを安全に使うための注意と利用法 実習 芳香浴		健康に活かし、安全に楽しむためにプロとして指導するために何度も注意を確認しておく。	2
2	アロマセラピーを生活に取り入れる。	空間づくりのためにアロマの効果を活用しながら空間を清潔に保つ。		ただの空間演出だけでなく、心理的、科学的根拠を理解して体にも環境にもやさしいアロマを使う。	2
3	エッセンシャルオイルの特性	エッセンシャルオイルの化学性と性質の違いを理解する。		エッセンシャルオイルのそれぞれの香りから受ける印象を大切にし、特色を覚える。	2
4	基材の化学性	有機化合物とは何か、基材の種類と特性を理解し、使う目的や肌質に合わせる。		エッセンシャルオイルの成分が塩基により特性、名称が変わることを理解する。	2
5	実習	バスソルトを作る。 重曹、クエン酸の役割と効用		症状を改善するためにエッセンシャルオイルと基材の組み合わせを応用する。	2
6	実習	香りで涼しさを演出する手法を学ぶ ハーブアレンジメント+保水ジェル+ミント		体感温度にも影響を及ぼすことができる。より涼しさを演出する。	2
7	健康学	身体を整えるしくみや身体作り（栄養、運動、病気）を知る。		人間の持つ恒常性を十分に引き出し、健康を守るために栄養、運動、休養が必要である。	2
8	健康学 内臓	身体の器官（内臓）について知る		内臓、器官がどのような働きで、どこにあるか、自分の体に責任を持つ	2
9	健康学 病気	メタボリックシンドローム、ロコモシンドローム高血圧、梗塞などのような成人にどんな病気が起こるかを知る		中高年以降起こりやすい病気の原因と予防について知る。	2
10	健康学 女性特有の病気	女性に起こりやすい、女性器官と特有の病気について理解する。		更年期以降女性のホルモンバランスがくずれ起こる病気について知る。	2
11	健康学 神経	交感神経と副交感神経、脳と神経についてしくみを学ぶ		言葉は聞いたことがあるが理解できていない部分を理解する。	2
12	健康学 ストレス	ストレスとは何か、ストレスの軽減、コントロールの方法について理解する（自律神経の働き含む）		ストレスの軽減についてアロマセラピーが心理的に有効であることを知る。	2
13	健康学 睡眠	健康を守るためには休養と睡眠が必要であり、睡眠についてのしくみを理解する。睡眠のサイクル、NON-REM睡眠の特色を知る。		神経との関係、人間にとって健康維持に大切な睡眠であることを理解する。	2
14	健康学 運動効果	運動効果について理解する。 運動の種類と効果を知り、病気の予防と改善に活かす。		病気を予防するうえでも、生活の質を上げるうえでも必要な知識を得る。	2
15	健康学 栄養	栄養バランスを理解する。 6大栄養素とは、カロリーとの関係など基礎的知識を得る。		人間が生きていくために食事の栄養不可欠であり、働きについて認識を持たせる。	2
その他	授業での学習の他に、自宅等での予習・復習を課す				

教科名：メディカルアロマ（講義）			後期	教科担任：山本 絵里子（実務経験教員）		
学科名：医療事務科			コース：FD	1年	単位数：2単位	
授業のねらい		日本アロマ協会アロマセラピーアドバイザー、日本アロマ環境協会アロマインストラクターとして、健康予防に関する指導を行う指導者の下、アロマセラピーとは何かを理解し健康に日常生活の質を上げるために香りをどのように活用していったらよいかの基礎を学ぶ。2年次5月の検定取得のための基礎知識を学ぶ。また、マッサージ（トリートメント）の基礎的技術手法を身につける。			前 期 2H×15W=30H 後 期 2H×15W=30H 合 計 60H	
目指す検定・資格		目標 日本アロマ環境協会1級、2級アロマセラピー検定（2年次5月受験） 取得可能な検定 日本アロマ環境協会アドバイザー（2年次6月講習取得） 環境カオリスタ検定			教材費	
テキスト・教材		日本アロマ環境協会1級・2級アロマセラピー検定テキスト アロマ検定問題集合格テキスト&模擬問題 アロマセラピー検定公式問題集 印刷教材				
評価方法		後期：試験 課題 授業態度 出席状況を総合して評価する。			その他	
時数	単元	授業内容（細目）			学習上の留意点	実時数
1	健康学 ダイエット	前回学んだ運動と栄養を活用し、健康的なダイエットの正しい知識が得られるよう理解する。			学んだ知識を総括し、積極的に健康管理でき、アドバイスできるようにする。	2
2	健康学 皮膚	アロマセラピーが体内に浸透する経路として皮膚から侵入し血液循環する重要な組織である。			日常のスキンケアアドバイスができるようにする。	2
3	健康学 骨格	骨格について正しく覚える			自分の体でありながら、どこでどうつながり、動くのか知らない。ボディトリートメントをするにあたり、筋肉や骨の位置、リンパを流すために正しい知識を習得する。	2
4	健康学 筋肉	筋肉について正しく覚える			〃	2
5	健康学 リンパ	リンパについて正しく覚える			〃	2
6	実習	セルフコスメとしてボディクリームを作る。 ビーズワックス、シアバターを作ってコスメ作り			カサツキを抑え、保湿する冬の体メンテナンスのためクリームを作る。	2
7	ボディトリートメント 講義	手技の種類と効果、注意事項などボディトリートメントの基礎技術を学ぶ。			指の使い方、腕の動かし方、施術者の姿勢など効果と共に基礎知識を得る。	2
8	ボディトリートメント 実習 顔	セルフトリートメントの技術を学ぶ ①顔のトリートメント			基礎知識をもとにパーツ毎に分けてトリートメント技術を習得し、全身へとつなげてい 体格や感じ方は人によって違うため、力加減、スピードなど心地好いと思われる施術を体験を通して獲得する。	2
9	ボディトリートメント 実習 四肢	セルフトリートメントの技術を学ぶ ②四肢のトリートメント			〃	2
10	ボディトリートメント 実習	下半身(前面)のマッサージ基礎を学ぶ			〃	2
11	ボディトリートメント 実習	上半身(前面)のマッサージ基礎を学ぶ			〃	2
12	ボディトリートメント実習 全身	全身のマッサージを習得する			〃	2
13	ボディトリートメント実習 全身	全身のマッサージを習得する			〃	2
14	自分だけのオリジナルの香りを作る	香りの要素ノートを学び精油の香りの特徴と持続時間を考慮し、自分だけのオリジナルの香りをブレンドする。			学んできたことを総合し目的に合った香りを調合する。	2
15	自分だけのオリジナルの香りを作る	香りの要素ノートを学び精油の香りの特徴と持続時間を考慮し、自分だけのオリジナルの香りをブレンドする。			学んできたことを総合し目的に合った香りを調合する。	2
その他	授業での学習の他に、自宅等での予習・復習を課す					

教科名： マネジメントゲーム（演習）			後 期	教科担任： 山口靖晃（実務経験教員）		
学科名： 公務員科			コース：		1 年	単位数： 1単位
授業のねらい		経営研究所（コンサルティング研修事業）で勤務経験のある教員が、その経験をいかし、経営に関する指導を行います。社長体験から企業経営の基本を学びます。企業取引による資金調達・決算から、実際の経営を演じることで、その激しい荒波から生き残りの仕方を学びます。経営計画を通し、その重要性が経営のカギであることに気づき自力で作成できるようになります。			前期 0H×15W = 0H 後期 2H×15W = 30H 合計 30H	
目指す検定・資格					教材費	
テキスト・教材		MG教材一式				
評価方法		後期出席率・授業内経営成績			その他	
時数	単元	授業内容（細目）			学習上の留意点	実時数
1	オリエンテーション 第 1 期 ルール説明	会社創造、会社の作り方を学ぶ 資金繰り表の書き方やルール（商法）学ぶ			会社とは何のためにあるかを理解する。	2
2	第 1 期決算 お金の借り方	決算の仕方、貸借対照表・損益計算書の作り方を学ぶ。借金の仕方について学ぶ。			会社の血である資金と財政を理解し、どう生活に活かされているかを理解する。	2
3	第 2 期ゲーム	暗中模索の経営。ルールを早く理解する。			ゲームの楽しさを知る。	2
4	第 2 期決算 株主総会	決算作業を早く理解する。自己資本を学ぶ。			決算の意味を理解する。	2
5	第 3 期ゲーム	試行錯誤の経営。ルールを理解し、次の一手を考える。			2 期の失敗からどう活かすかを気づく。	2
6	第 3 期決算	利益重視を理解し、次の経営に結びつける。			計算がなぜ合わないのかを十分理解する。	2
7	株主総会 戦略会計	経営の目を理解し、損益分岐点を理解、どうすれば儲けられるのかを理解する			なぜ悪かったのかどうしてできなかったのかを知る。	2
8	経営計画立案	損益分岐点から経営計画を理解し、投下資本対する獲得利益をシミュレートする			意欲を起こし、次の方策を考える。	2
9	第 4 期ゲーム	計画経営（１）				2
10	第 4 期決算	予実管理、差額比較を行い、行動計画に結びつける。			決算スピードを考える。	2
11	株主総会 経営計画	経営計画を緻密にし、より実践的な予算を立てる。			最終期の資産状況を考慮する。	2
12	ビジネスパワー	自分の癖や不得手を理解し、自己啓発につなげる。			計数力、先見力、状況判断力に注目	2
13	第 5 期ゲーム	計画経営（２）			活気あるマーケットと飽和するマーケットでどう戦うか。	2
14	第 5 期決算	戦略経営を身に付け、どう役立てるか考える。			決算スピードを意識チームへの助け	2
15	評価・まとめ	期末評価・マネジメントゲームで何を学ぶかをレクチャー			実務での活用を理解する。	2
その他	上記授業計画の他に、予習・復習を課すものとする。					

教科名： F P 基礎（講義）			後 期	教科担任：山口靖晃（実務経験教員）			
学科名：公務員科			コース：		1年	単位数：1 単位	
授業のねらい		経営研究所（コンサルティング研修事業）で勤務経験のある教員が、その経験をいかし、経営に関する指導を行う。ファイナンシャルプランナー（F P）の試験項目に基づいて、生活に必要な基礎知識を学習し、社会活動に活かす狙い。			前期0H×15W = 0H 後期2H×15W = 30H 合計30H		
目指す検定・資格		目標：F P 3 級技能士レベルになる。			教材費		
テキスト・教材		講師にてプリント準備					
評価方法		記述試験及び後期出席率にて評価。			その他		
時数	単元	授業内容（細目）			学習上の留意点		実時数
1	オリエンテーション 税金	全体的学習の流れ 税金の種類について			身近な税金について理解する。		2
2	所得税とは	所得とは、身近な給与所得、一時所得など所得を実際計算してみる。			所得税の計算方法をしっかり学ぶ		2
3	消費税とは	2 0 1 9 年 1 0 月から変わった消費税法について学ぶ。			消費税の身近さを感じながら学ぶ。		2
4	法人税とは	法人税とは、実際にその法事税申告書を作成してみる。			法人税についてその種類につて理解する		2
5	保険の種類（1）	保険の種類とその適用について学習			保険の法律について理解する		2
6	保険の種類（2）	わが国の保険制度について、保険の機能につて学ぶ			詐欺事件や保険に係る犯罪について理解する		2
7	生命保険	生命保険について、第3分野保険について 学ぶ			生命保険の種類をしっかりと区別する		2
8	損害保険	損害保険・傷害保険、自動車保険について詳しく学ぶ			損害保険の特色と特に自動車保険について理解する。		2
9	貯金・預金	預金の現状と郵貯・農協・リテールバンクについて			いろんな預金の有用性を知る。		2
10	普通預金	普通預金の大事な事項			私生活における流動性は現金より重要なことを理解する。		2
11	定期預金	定期預金の運用方法と総合口座について学ぶ			定期預金の必要性について、理解する。		2
12	当座預金	当座預金の開設方法とその運用について			小切手、手形、掛け取引など預金証明について重要口座について理解する。		2
13	F X 投資ファンド	F X の仕組みとそのやり方について学ぶ			その有用性と危険性について		2
14	株式投資 投資信託	株式投資とは、株式投資信託について学ぶ			経済との関係性について理解する。		2
15	まとめ	生活におけるお金の運用方法と今後について。			F P への受験を目指しより学習を勧める。		2
その他	上記授業計画の他に、予習・復習を課すものとする。						

教科名：簿記ゼミ（講義）			後期	教科担任： 五十嵐 浩（実務経験教員）		
学科名：公務員科		コース：			単位数： 1単位	
授業のねらい		学校（私立高校）事務での勤務経験がある教員がその経験を活かし、仕訳を正確に行い、精算表・財務諸表を作成できることを目標とする。			前 期 後 期 2H×15W=30H 合 計 30H	
目指す検定・資格		目標 全経簿記3級 取得可能な検定			教材費	テキスト：1,320円 問題集：1,320円
テキスト・教材		全経簿記能力検定試験公式テキスト・問題集3級				
評価方法		前期： 後期：試験・課題			その他	
時数	単元	授業内容（細目）			学習上の留意点	実時数
1	簿記の基本原理 （基礎概念、取引、勘定、帳簿）	損益計算書と貸借対照表との関係 仕訳の基礎、主要簿、補助簿			簿記の役割を理解する。	2
2	諸取引の処理	現金と預金とは、現金の取引、小切手の仕組み、当座預金の取引			取引に応じた仕訳を理解する。	2
3	諸取引の処理	商品売上の取引（三分法と売上原価対立法）、掛け取引、返品、			〃	2
4	諸取引の処理	様々な費用の支払と収益の受取り、手形とは、手形取引			〃	2
5	諸取引の処理	その他の債権債務（未収金と未払金、前払金と前受金、仮払金と仮受金、立替金と預り金）			〃	2
6	諸取引の処理	現金過不足、小口現金、消費税			〃	2
7	諸取引の処理	有価証券、有形固定資産、株式の発行			〃	2
8	精算表	決算の手続きと精算表の作成			決算の意味と処理方法をしっかりと理解する。	2
9	精算表	決算の手続きと精算表の作成			〃	2
10	精算表	決算の手続きと精算表の作成			〃	2
11	財務諸表	損益計算書と貸借対照表の作成			〃	2
12	振替処理	各種帳簿の締切、収益と費用の締切、資産と負債と資本の締切			複雑な箇所なので、丁寧にを行う。	2
13	決算整理後残高試算表 伝票作成	試算表の役割、伝票の役割、試算表と伝票の作成			試算表と伝票の役割をしっかりと理解する。	2
14	試験対策とまとめ	過去問題を利用して、対策を行う。			試験の傾向を把握し、時間を意識して取り組む。	2
15	試験対策とまとめ	過去問題を利用して、対策を行う。			〃	2
その他						

教科名：マーケティング1（講義）		通期	教科担任：山本絵里子（実務経験教員）			
学科名：アロマケアサポート科		コース：		1年	単位数：2単位	
授業のねらい		企業運営の経験を活かし、マーケティングについて指導する。物が売れる仕組みを作ることは社会にとって重要なことであり、クライアントからの商品開発やショップマスター、起業を考える上でもマーケティングは重要な基礎知識である。マーケティングの基本からwebの活用、ショップデザインに必要なビジュアルマーチャンダイジング、業界分析まで学ぶ。			90H	
目指す検定・資格		目標 ・ なし 取得可能な検定			教材費	
テキスト・教材		知識ゼロからのマーケティング入門 広兼憲史著 印刷教材 50枚				
評価方法		前期 試験 ・ レポート・課題 後期 試験 ・ レポート・課題			その他	
時数	単元	授業内容（細目）			学習上の留意点	実時数
1	マーケティングとは	自分が欲しいものは何？ なぜ、人は買い物をするのか？ ニーズ、ウォンツ、シーズとは			問いかけにより経験を話し導入し、身近な課題だということを知らせる。	2
2	プロモーション戦略 ①ラジオ	FMラジオコンペに向けて本校CM案を作り、放送までの流れを知る ①ラジオCMの特徴と課題の提示			本校を選んだ動機をKJ法、マッピングでまとめる。	2
3		②ラジオCMの実例例を知る（プロのアドバイス提示） ③コピー、SE、ナレーションの構成要素 ④放送時間			事例を多く聞く	2
4		⑤作成			声に出して話す	2
5		⑥ブラッシュアップ				2
6	プロモーション戦略 ②テレビ	①ラジオCMとテレビCMの違い ②本校CM案課題提示、放送までの流れを知る				2
7	プロモーション戦略 ②テレビ	テレビCM絵コンテ作成				2
8	マーケティング3Cとは	顧客、競合、自社を知る。			戦略の立案や計画の見通しに必要な知識を得る	2
9	STPとは	ターゲット、セグメンテーション、ポジショニング			市場と顧客の関係を理解する。	2
10	プロモーション戦略 ②テレビ	自身が作ったCMの発表				2
11	マーケティングミックス	4P、マーケティングの定義を知る。			売れるための仕組みづくり ということを理解する。	2
12	ワークシート	各自進める				2
13	消費者心理について	顧客満足度を高めることの重要性を知る。			売るためには顧客を知る。 購買動機は何か1時間目を振り返りながら知識に結び付ける。	2
14	人の欲求の変化	人の欲求の変化(マズローの欲求の5段階)を知る。				2
15		A I D M A の法則とは				2
16		時代で変化してきたAISAS SIPPSなどの最新のウェブ戦略における考え方の基礎			ネット時代の購買行動の変化を知る。	2
17	ライフスタイル	消費者分析として購買時期の分析、ライフスタイルがあることを知る。 イノベーター、オピニオンリーダー、AIO			人が購入するには	2
18	情報の収集と分析	マーケティングリサーチ			データの種類と収集方法	2
19	ワークシート	各自進める				2
20	自社と競合の分析	市場地位における戦略 リーダー、フォロワー、チャレンジャー ニッチャー			競争地位を知り、マネのできない差別化	2
21	経営資源の配布	PPMと			自分を商品として、就職活動に生かすためには、と身近に考える。	2
22	自社環境分析	SWOT分析			現状を把握し具体的な戦略へ	2

23	ワークシート	各自進める		2
24	製品戦略のポイントとは	製品とは「便益の束」 製品の分類	消費者ニーズに合わせた製品を提供しつづけるためにはどのようにしたら良いか考える	2
25		製品ラインと製品ミックス	最適な製品の組み合わせを考える	2
26		ライフサイクルを知る。 計画的陳腐化	製品にも一生がある どのように計画していくか	2
27	ブランド戦略	ブランドの定義と役割	ブランドの基本戦略	2
28		ナショナルブランドとプライベートブランド	主体はメーカーか流通側か	2
29	パッケージング	パッケージデザインと商品化、新製品の提供までの流れを知る。		2
30	新製品開発	新製品誕生までのプロセス	開発手順を系統立てる	2
31	ワークシート	各自進める		2
32	価格戦略とは	価格がどのように決められるか		2
33		コストプラス法	コストに利益をプラス	2
34		需要志向と競争志向	値ごろ感と競合会社	2
35		上澄み吸収価格戦略 市場浸透価格戦略	早めに利益を刈り取る 低価格でシェア獲得	2
36		製品ミックス、端数価格、威光価格、割引	消費者心理に基づいた価格戦略	2
37	ワークシート	各自進める		2
38	流通チャネル戦略	流通チャネルとは 流通チャネル政策	川上から川下までの流通チャネルを知り、卸、小売店の役割を知る。	2
39		垂直的マーケティングシステム	統合されたシステムとして機能	2
40		卸売業者、小売業者の役割	機能と分類	2
41	プロモーション戦略とは	テレビ、ラジオ、ネットの他の戦略を知り、プロモーションミックスを行う。	顧客が買いたくなるような刺激づくりが重要であることを知る。その方法は1つではない。	2
42		人的戦略、イベントなどの活用方法など具体的戦略を知る。		2
43	ワークシート①	各自進める	理解を深める	2
44	ワークシート②	各自進める	理解を深める	2
45	ワークシート③	各自進める	理解を深める	2
その他				

教科名：パソコン実習 1（実習）		通期	教科担任：梅津 隆雄（実務経験教員）			
学科名：アロマケアサポート科		コース：	1年	単位数：	3単位	
授業のねらい		情報系で実務経験のある指導者の下、機能をひとつずつ理解し、機能を実行するための操作方法を習得する。MO S試験検定取得を目標とする。			9 0 H	
目指す検定・資格		目標 取得可能な検定 MO S試験検定			教材費	
テキスト・教材		よくわかるマスターWord 2019 Expert 対策テキスト&問題集 印刷教材				
評価方法		試験 課題により評価する			その他	
時数	単元	授業内容（細目）			学習上の留意点	実時数
1	文書の表示と管理	文章のズームや分割 ウインドウに文章を表示する 整列			文章をさまざまな方法で保護、管理、保存できるようにする。	4
2	文書の表示と管理	文章のズームや分割 ウインドウに文章を表示する 整列			文章をさまざまな方法で保護、管理、保存できるようにする。	4
3	文書の表示と管理	ファイルの種類の変更 電子メールで文章を送信する			文章をさまざまな方法で保護、管理、保存できるようにする。	4
4	書式設定	フォントと段落 文章の移動			表の作成、表を操作できるようにする。さまざまな書式設定ができるようにする。	4
5	書式設定	フォントと段落 文章の移動			表の作成、表を操作できるようにする。さまざまな書式設定ができるようにする。	4
6	書式設定	表作成 インデント タブの設定 行間隔			表の作成、文字を表に転換する。文書内の表を操作できるようにする。	4
7	書式設定	表作成 インデント タブの設定 行間隔			表の作成、文字を表に転換する。文書内の表を操作できるようにする。	4
8	書式設定	表作成 インデント タブの設定 行間隔			表の作成、文字を表に転換する。文書内の表を操作できるようにする。	4
9	書式設定	表作成 インデント タブの設定 行間隔			表の作成、文字を表に転換する。文書内の表を操作できるようにする。	4
10	書式設定	箇条書き 段落番号			箇条書きを設定し、文書の内容を整理できるようにする。	4
11	書式設定	箇条書き 段落番号			箇条書きを設定し、文書の内容を整理できるようにする。	4
12	練習問題	練習問題を解く			理解を確認する。	4
13	練習問題	練習問題を解く			理解を確認する。	4
14	練習問題	練習問題を解く			理解を確認する。	4
15	練習問題	練習問題を解く			理解を確認する。	4
その他						

教科名：パソコン実習2（実習）		通期	教科担任：梅津隆雄（実務経験教員）		
学科名：アロマケアサポート科		コース：	2年	単位数：	2単位
授業のねらい		情報系で実務経験のある指導の下、パソコンの基本操作を習得する。 コンピュータを使いこなすためのリテラシーを習得し、MOSの学習に取り組み検定取得を目的とする。		60H	
目指す検定・資格		目標 取得可能な検定 MOS試験		教材費	
テキスト・教材		よくわかるマスターWord 2019 Expert 対策テキスト&問題集 印刷教材			
評価方法		レポート・検定試験状況により評価する		その他	
時数	単元	授業内容（細目）		学習上の留意点	実時数
1	レイアウト	ページのレイアウトをする。		背景の色を設定し背景にグラデーションなど書式を設定できるようにする。	4
2	レイアウト	ページのレイアウトをする。 ページの背景		文章の背景に図を透かして表示できるようにする。テキストボックスの挿入。	4
3	レイアウト	ページのレイアウトをする。		罫線を設定し、挿入 削除を行う。	4
4	レイアウト	ページのレイアウトをする。		日付や時刻を挿入できるようにする。ヘッダーやフッターの編集、削除。	4
5	資料作成①	練習問題を作成する		学習した内容確認のため練習問題を繰り返し解く。	4
6	資料作成②	練習問題を作成する		学習した内容確認のため練習問題を繰り返し解く。	4
7	図や画像の挿入	図 サイズ アート トリミング		撮影した写真やイメージスキャナーで取り込んだイラストや画像を文章に挿入できるようにする。	4
8	図や画像の挿入	図 サイズ アート トリミング		図形 ワードアートを挿入する。	4
9	図や画像の挿入	グラフィックサイズ グラフィック移動		デザイン性の高い図解を学ぶ。	4
10	資料作成③	練習問題を作成する		学習した内容確認のため練習問題を繰り返し解く。	4
11	資料作成④	練習問題を作成する		学習した内容確認のため練習問題を繰り返し解く。	4
12	資料作成⑤	練習問題を作成する		学習した内容確認のため練習問題を繰り返し解く。	4
13	資料作成⑥	練習問題を作成する		学習した内容確認のため練習問題を繰り返し解く。	4
14	資料作成⑦	練習問題を作成する		学習した内容確認のため練習問題を繰り返し解く。	4
15	資料作成⑧	練習問題を作成する		学習した内容確認のため練習問題を繰り返し解く。	4
その他					